

教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成28年度事業分)

平成29年9月

葛城市教育委員会

目 次

	はじめに.....	1
1.	教育に関する事務の点検及び評価の実施方針について.....	2
2.	教育に関する事務の点検及び評価について.....	2
3.	教育委員会点検・評価に関する有識者の概要.....	4
4.	教育委員会の運営及び活動状況.....	5
5.	葛城市総合計画に基づく政策体系について.....	9
6.	教育委員会事業評価シート.....	1 1
7.	点検及び評価のまとめ.....	6 1

はじめに

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関であり、教育委員会が自ら立てた教育行政の基本方針に基づき、教育に係る広範かつ専門的な事務を確実に実施することが求められます。

平成27年4月1日には「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正が行われ、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化が図られたところです。

この「教育に関する事務の点検及び評価」は、平成20年度より毎年、事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに公表しております。今年度は、平成28年度事業評価にあたり、前年度評価の実施後、改めて評価対象や評価方法に係る議論を重ね、その上で担当課ごとに自己評価に取り組みました。6月には、「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」により、各事業実務担当者に対するヒアリングを実施し、各事業についてご意見をいただきました。

有識者のご意見を受けて再度担当課ごとに来年度以降の事業方針を決定し、最後に教育委員より評価の総評をいただきました。

この報告書は、以上の成果を「教育に関する事務の点検及び評価報告書」としてまとめたものです。

1. 教育に関する事務の点検及び評価の実施方針について

(1) 趣旨

葛城市教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

(2) 実施方法

- 1) 葛城市教育委員会の主要施策を対象として点検及び評価を行う。
- 2) 点検及び評価は、前年度の施策・事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向を示すものとし、毎年1回実施する。
- 3) 施策・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検及び評価を行う。
- 4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」を置く。
(「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。)
- 5) 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を市議会へ提出する。また、報告書は公表するものとする。

2. 教育に関する事務の点検及び評価について

(1) 評価の対象

評価の対象は前年度の施策・事業（今回は平成28年度事務執行分）とし、葛城市教育委員会所管の学校教育・社会教育それぞれの分野の施策に関して、評価を実施しました。

(2) 今年度の点検及び評価の流れ

まず、主要事業ごとに教育委員会事務局自らがそれぞれの事業のコスト及び成果等について自己評価を行いました(教育委員会事業評価シート(計画)・(実施内容)・(評価)各欄)。その後、事務局評価の客観性を確保するため、作成した評価シート及び各課への有識者ヒアリングをもとに、有識者より様々なご意見をいただきました(教育委員会事業評価シート(有識者意見)欄)。事務局はそれらのご意見を受けて、来年度以降の事業方針を決定しました(教育委員会事業評価シート(方向性)各欄)。

最後に、これらすべてについて教育委員よりご意見をいただきました(点検及び評価のまとめ)。

(3) 点検・評価の経緯

①平成28年度 3月定例教育委員会会議(平成29年3月9日開催)

教育に関する事務の点検及び評価の公表・年度計画について協議決定するとともに、事務の点検及び評価を行う様式及び評価事業の決定を行いました。

②教育に関する事務の点検及び評価 有識者ヒアリング

(平成29年6月1日・2日開催)

事業評価について、各事務担当より意見聴取を行いました。

③平成29年度 7月定例教育委員会会議(平成29年7月12日開催)

教育に関する事務の点検及び事業評価について協議しました。

④平成29年度 8月定例教育委員会会議(平成29年8月2日開催)

教育に関する事務の点検及び評価報告書を決定しました。

⑤「教育に関する事務の点検及び評価報告書」を葛城市議会議長に提出します。

(平成29年9月提出予定)

(4) 各事業の方向性

平成28年度主要施策における来年度以降の方向性について、集計結果は以下のとおりです。

事業の方向性	件数
さらに重点化する	1件
現状のまま継続する	10件
見直しのうえ継続する	12件
事業の縮小を検討する	1件
休止、廃止を検討する	0件
終了・完了	0件

(主要施策ごとの評価は、P13～P60に掲載)

3. 教育委員会点検・評価に関する有識者の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条に基づき、葛城市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見をいただくため、葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者を委嘱しました。

有識者は、次の方に委嘱しました。

岡野 晴充 (元小学校校長、葛城市社会教育委員・公民館運営審議会委員)

川中 教正 (當麻寺奥院 副住職)

(主要施策ごとの意見は、P13～P60に掲載)

4. 教育委員会の運営及び活動状況

(1) 教育委員会委員について

教育委員会委員は下表のとおりです。(平成29年9月1日現在)

職名	氏名	備考
教育長	杉澤 茂二	
教育長職務代理者	和田 治	
委員	米田 知昭	
委員	高木 希容子	
委員	西川 吉昭	

(2) 教育委員会議及び審議状況について

平成28年度は合計で24回(臨時会3回)の委員会を開催し、審議事項12件、協議報告事項56件について審議・協議を行いました。内容は、下表のとおりです。

開催日	審議事項	協議報告事項
4月15日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会人事異動について ・平成28年度学校教育課程・教育の力点について ・教育委員会後援名義の使用について
5月13日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会後援名義の使用について ・「日本の書道文化」をユネスコ無形文化遺産に登録するための賛同団体署名について ・民生児童委員推薦委員の選出について ・教育委員会弔慰内規について ・特別支援学級の教育課程について ・組み体操の安全な実施について
5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計補正予算に対する意見聴取について 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会後援名義の使用について ・教育委員会弔慰内規について ・教育委員会議事録のホームページ掲載について
6月14日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食運営委員の委嘱について ・教育委員会後援名義の使用について ・平成28年度人権教育シンポジウムの開催について ・教育委員会弔慰内規について

開催日	審議事項	協議報告事項
6月29日	・社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について	・教育委員会後援名義の使用について ・学校給食運営委員の委嘱について ・教育委員会弔慰内規について ・教育の現状と諸問題についての意見交換会の内容について
7月12日	なし	・教育委員会評価意見提出について ・教育委員会後援名義の使用について
7月29日	なし	・教育委員会後援名義の使用について
8月8日	なし	・平成27年度教育に関する事務の点検及び評価について
8月19日	・一般会計補正予算に対する意見聴取について	なし
8月29日	なし	・教育委員会後援名義の使用について ・平成28年度市町村教育委員会研究協議会の開催について
9月9日	なし	・教育委員各種研修について ・部落開放研究第50回全国集会の参加について
9月25日	なし	・教育委員会後援名義の使用について ・平成28年度全国学力状況調査の概況 ・平成28年度いじめ調査の概況
10月11日	・学校歯科医の委嘱について	・教育委員会後援名義の使用について ・今年度の運動会・体育大会に係る「組み体操」の状況について ・平成28年度全国学力・学習状況調査における児童質問紙回答の分析について

開催日	審議事項	協議報告事項
10月31日	・学校歯科医の委嘱について	・教育委員会後援名義の使用について ・平成28年度奈良県市町村教育委員会研修大会について
11月9日	なし	・学校給食運営委員の委嘱について ・教育委員会人事異動について
11月25日	・教育に関する事務に係る議案の意見聴取について ・一般会計補正予算に対する意見聴取について	・教育委員会後援名義の使用について ・学校給食運営委員会委員の推薦について
12月7日	・教育に関する事務に係る議案の意見聴取について	・教育委員会後援名義の使用について
12月20日	なし	・教育委員会後援名義の使用について ・教育委員会作文審査について
1月12日	なし	・学校給食運営委員の委嘱について ・歴史博物館協議会委員の委嘱について ・教育委員会後援名義の使用について
2月6日	・葛城市社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について	・教育委員会後援名義の使用について
2月21日	・一般会計補正予算に対する意見聴取について ・学校給食特別会計補正予算に対する意見聴取について ・平成29年度一般会計予算に対する意見聴取について ・平成29年度学校給食特別会計予算について	なし

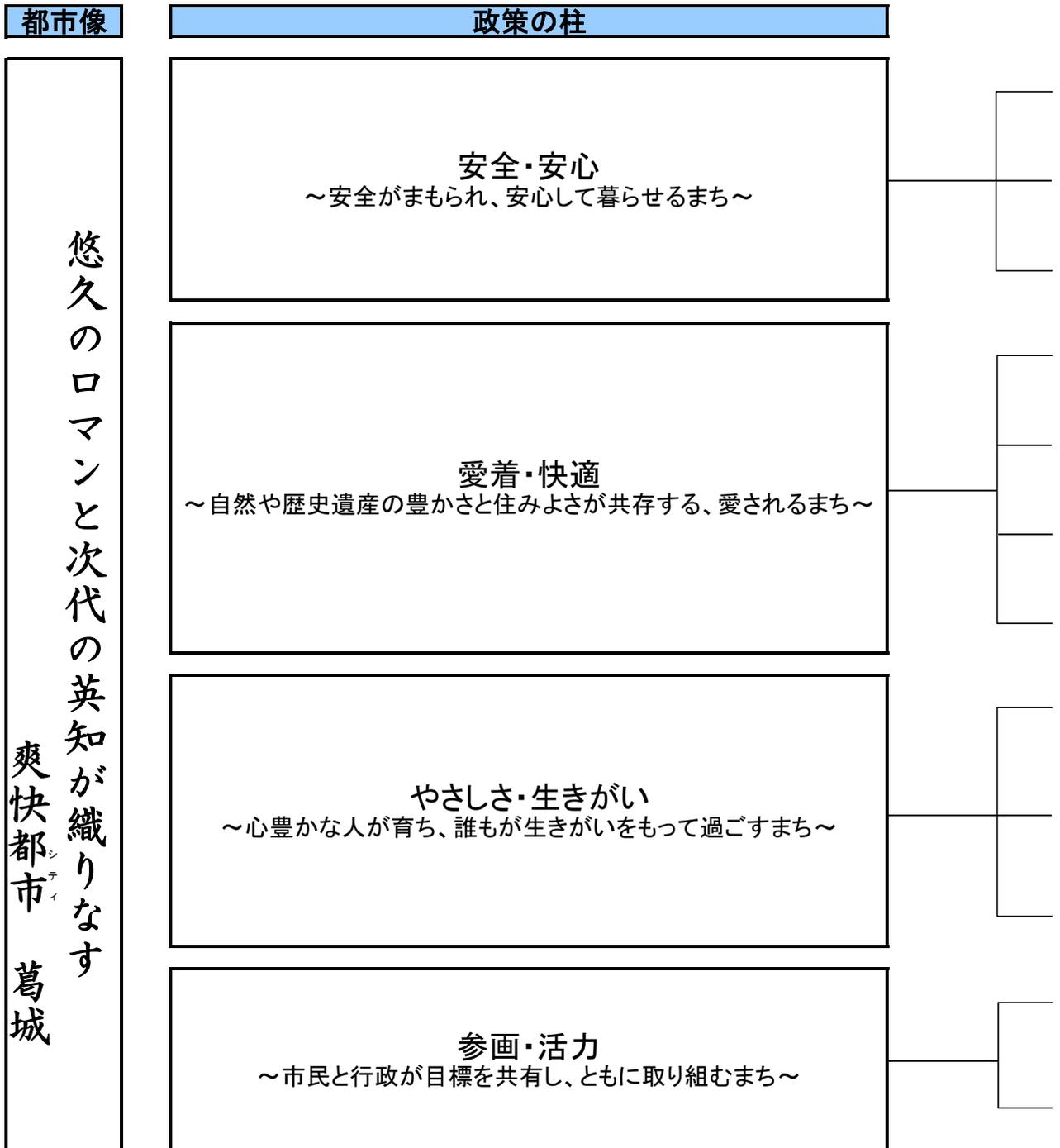
開催日	審議事項	協議報告事項
2月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会委員の委嘱について ・社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史博物館協議会委員の委嘱について ・教育委員会後援名義の使用について
3月9日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・遊技場建築審査会委員の選出について ・文化会館協議会委員の委嘱について ・平成29年度教育に関する事務の点検及び評価対象事業の選出について ・教育委員会後援名義承認基準について ・平成28年度いじめ調査の概況
3月30日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会後援名義の使用について ・教育委員会後援名義承認基準について

(3) 教育委員会議以外の活動について

市内外の各種行事や研修等に参加しました。主な内容は、以下のとおりです。

- ・各幼稚園、小・中学校入学式（4月7日～11日）
- ・第1回食いしんぼりレーマラソン in 葛城（5月15日）
- ・市町村教育委員会教育委員長・教育長会（6月1日）
- ・教育の現状と諸課題についての意見交換会（7月4日）
- ・葛城市立学校新着任者研修会（8月19日）
- ・市民体育祭（9月25日）
- ・各幼稚園、小・中学校運動会（9月24日～10月5日）
- ・平成28年度近畿市町村教育委員会研修大会（10月25日）
- ・平成28年度奈良県市町村教育委員会研修大会（11月11日）
- ・各小・中学校訪問（11月22日～12月2日）
- ・各幼稚園訪問（2月1日、2月8日）
- ・葛城市駅伝・マラソン大会（1月8日）
- ・成人式（1月9日）
- ・教育委員会人事具申ヒアリング（1月19日～20日）
- ・生涯学習まちづくり推進大会（2月19日）
- ・孝女伊麻頭彰法要（2月27日）
- ・各幼稚園、小・中学校卒業式（3月15日～17日）

5. 葛城市総合計画に基づく政策体系について
葛城市総合計画については以下のとおりです。



政策目標	施策目標
犯罪・災害に対する安全性の向上	犯罪から市民をまもり安全性を高める 自然災害や火災等に対する安心感を高める
事故や病気に対する安心感の向上	安心して救急医療サービスが受けられるようにする 交通事故を減らし、安全に対する意識を高める
社会生活の安全性の向上	食に対する安心感を高める 消費生活や個人情報の安全をまもる
良好な自然・地域環境のブランド化	良好な自然と地域環境を保全し、活用する 循環型社会への取組を高めるとともにモラルを向上させる
歴史・文化の保全・継承と交流の促進	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす 伝統文化を継承するとともに新たな文化・交流を生み出す
日常生活の利便性・快適性の向上	駅前整備や道路など日常生活の利便性を高める 憩いや散策の場が身近にあり、快適性を高める
地域産業の振興と担い手の育成	農業をはじめ第1次産業の担い手を育てる 特産品や技術を生み出し、地域産業を活性化する
子育てと生きがいの両立	地域で支えあいながら、楽しく子育てができるようにする 子育てと仕事が両立できるようにする
学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる 必要な知識や能力を身につけられるようにする 芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする
いきいきとした生活と社会参加の促進	病気にかからず、介護を必要としないよう、心身の健康を保つ 高齢者や障害者の方が安心して生活できるようにする
市民参画による協働のまちづくりの推進	地域コミュニティ・団体を育てる 市民や事業者の考えや提案をまちづくりに活かす
効果的な行財政運営	経費の削減と独自財源の確保による財政基盤を強化する 職員の能力を高め、アイデアを政策に反映させる 目標に応じた効果的なサービス等の提供を行う

※網掛け部は今回の教育委員会評価対象事業において目標とされている施策です。

6. 教育委員会事業評価シート

【平成28年度主要事業に対する教育委員会評価シート】

事業 No. 1	空調設置工事	1 3
事業 No. 2	新庄北幼稚園増築及び各所改修工事	1 5
事業 No. 3	小学生スポーツ教室委託事業	1 7
事業 No. 4	学校給食事業	1 9
事業 No. 5	葛城歌壇短歌大会	2 1
事業 No. 6	読書活動支援・講座	2 3
事業 No. 7	ブックスタート事業	2 5
事業 No. 8	成人式式典事業	2 7
事業 No. 9	生涯学習人材バンク事業	2 9
事業 No. 10	青少年健全育成事業	3 1
事業 No. 11	学校・地域パートナーシップ事業	3 3
事業 No. 12	生涯学習まちづくり推進大会	3 5
事業 No. 13	葛城アートフェア事業	3 7
事業 No. 14	公園まつり実行委員会業務	3 9
事業 No. 15	地区館教室・講座事業	4 1
事業 No. 16	中央公民館 當麻文化会館 教室・講座事業	4 3
事業 No. 17	文化振興事業	4 5
事業 No. 18	展示（常設展・特別展等）事業	4 7
事業 No. 19	歴史講座開催事業	4 9
事業 No. 20	埋蔵文化財等調査事業	5 1
事業 No. 21	各種教室開催事業	5 3
事業 No. 22	各種スポーツ大会等開催事業	5 5
事業 No. 23	体育施設の管理運営事業	5 7
事業 No. 24	総合型地域スポーツクラブ事業	5 9

教育委員会事業評価シート

		事業No.	1
事務事業名	空調設置工事	担当課名	教育総務課
係 名	施設係	施 設 名	小・中学校

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	日常生活の利便性・快適性の向上		
	施策目標	駅前整備や道路など日常生活の利便性を高める		
事業の目的	昨今の気温上昇による子どもの健康管理および快適な教育環境のもとでの学習のため			
事業の内容	平成28年度は市内2校の中学校の空調機器未設置の普通教室および特別教室に空調機器の設置を行った。新庄中学校は42室、白鳳中学校は27室に空調機器を設置した。平成29年度は市内5校の小学校に設置予定。			
事業対象	新庄中学校・白鳳中学校			
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	平成 28年度 ～ 平成 29年度 間

(実施内容)

		区 分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算
		事業費①	内一般財源 内国・県補助金 内受益者負担	△		
事業コスト (単位：千円)		人件費②			183,708	365,929
		総コスト①+②			146,214	291,362
					37,494	74,567
					0	0
				6,219	6,419	
				189,927	372,348	
実績と成果	区 分		単 位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業実績	施工	円	△	183,708,000	347,829,120
		設計	円		0	18,100,800
					(↑教育総務課で設計)	
	事業成果	空調設置教室数			↓27年度までの設置数	
		小学校	室	31	31	156
		中学校	室	13	82	82
幼稚園		室	15	18	18	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>中学校の空調導入にあたっては、電気空調とするかガス空調とするか、イニシャルコストとランニングコスト等を比較しより経済的であったガス空調とした。また、学校現場での運用にあたっては運用指針を作り、過剰な運用とならないよう通知している。空調を導入したことで、学習の能率が上がり、また児童生徒の体調管理に良い影響を及ぼしているかどうか等、今後注視していく必要がある。</p>			
事業の課題・問題点	<p>ガス空調としたためコスト面は電気に比べ格安となったが、故障や災害等が起こった場合、復旧には電気よりも時間がかかると考えられる。特に冬場の寒い時期において、空調が長期において使えなくなったときの対策を考えておく必要がある。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>平成29年度は小学校の空調を導入予定であり、中学校の事例を踏まえ、よりよい運用ができるように図っていく予定である。また、幼稚園においては耐震化を優先事項とし、空調設置については今後の課題とする。</p>
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	<p>地球温暖化が叫ばれる中、実際に平均気温が上昇していることは多くの人が体感しています。学習の向上と安全な学校生活の上でも、本事業は時代に相応し、早期の設備普及が必須であると考えます。</p> <p>子供たちが快適な教育環境の下で教育を受けられることは、学習の効率が上がり、学力向上につながっていくものと考えられる。また、運用指針も作り適切な運用がされ、充分評価できる。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>快適な教育環境の実現のため、今後幼稚園への空調設置も視野に入れつつ、適切な運用のために運用指針の徹底を図っていく予定である。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	2
事務事業名	新庄北幼稚園増築及び各所改修工事	担当課名	教育総務課
係名	施設係	施設名	各幼稚園、小・中学校

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	安全・安心～安全がまもられ、安心して暮らせるまち～		
	政策目標	日常生活の利便性・快適性の向上		
	施策目標	駅前整備や道路など日常生活の利便性を高める		
事業の目的	3歳児保育開始に対応可能な学校環境を整え、より充実した教育を行うため			
事業の内容	新庄北幼稚園については、平成29年4月からの新庄地区3歳児保育開始に伴い、保育室（1室）の増築と園庭の改修等を行った。また、各小中学校建物、設備の中規模程度の改修工事により、よりよい教育環境を築くため、新庄小学校は屋外便所改修、磐城小学校は廊下床改修、新庄中学校は砂場改修、白鳳中学校は南棟校舎及び渡り廊下の屋上防水改修、新庄幼稚園は3歳児保育対応保育室改修、忍海幼稚園は屋根・樋の塗装及び園児用便所改修をそれぞれ行った。			
事業対象	各幼稚園、小中学校			
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	平成 28年度 ～ 平成 28年度 間

(実施内容) ※H27、H29は各所工事の決算・予算

		区 分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		16,002	56,303
内一般財源			16,002	51,576	12,480	
内国・県補助金			0	4,727	0	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			5,429	6,219	7,911	
総コスト①+②			21,431	62,522	20,391	
実績と成果	区 分		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)	
	事業実績	新庄北幼増築	円	/	45,633,780	/
		各所工事	円	16,002,360	10,670,000	12,480,000
	事業成果	教室増数	室		1	
各所工事箇所			新庄小学校／屋外便所の改修 磐城小学校／北館渡り廊下及び階段の床改修 新庄中学校／給食配車プラットフォーム改修 白鳳中学校／北館教室建具改修、音楽室上部カーテン改修他	新庄小学校／屋外便所改修工事他 磐城小学校／渡り廊下床補修工事他 新庄中学校／砂場改修工事 新庄幼稚園／保育室改修工事	新庄小学校／男女職員トイレ改修工事他 忍海小学校／屋外トイレ改修工事 新庄北小学校／パソコン室カーテン取付工事他 磐城小学校／配膳室改修工事 当麻小学校／廊下窓手摺り取付工事 新庄中学校／渡り廊下漏水補修工事 白鳳中学校／ブルー日除け庇屋根改修工事 新庄幼稚園／年少トイレ改修工事他 新庄北幼稚園／通用門塗装改修工事	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	3歳児保育開始による対策として、新たに教室を増築するとともに、現在の学校施設を長寿命化して使えるよう、各所の修繕・改修等を行い、利便性が向上した。			
事業の課題・問題点	各学校・園とも建築より相当年数が経っており、学校・園側が要望する修繕箇所も年々増えているが、予算上全てに対応できない。子どもの命を第一に考え、緊急を要する箇所から行うとし、安全で安心できる学校施設の環境づくりを進める必要がある。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	学校施設の危険箇所に加え、校区の住宅開発や人口動態等を常に把握するようにし、事前対応をできるように努める。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>新庄地区幼稚園の3歳児保育対応は、2町合併以降地域格差解消の為に必要であります。人口動態も予想した上で今後も施設整備を行わなければなりません。また、施設によっては40年の経過年数を経ており、施設を維持するならば改修整備を怠ることはできないと考えます。</p> <p>3歳児保育開始に伴う増築・改修等は必要である。また、子供たちが毎日活動する幼稚園・小学校・中学校は、安全でなくてはならない。そのためにも、今後も、施設点検を定期的に行っていただき、危険箇所等は、修繕・改修し、すべての教育施設の環境整備に取り組んでいただきたい。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	今後、公共施設等総合管理計画に基づき、平成32年頃までに個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)を策定することが求められている。学校・園についても維持管理等に係るトータルコストの縮減を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を保持するために、将来の人口増減も視野に入れ、計画的に整備を実施していきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	3
事務事業名	小学生スポーツ教室委託事業	担当課名	学校教育課
係 名	学習指導係	施設名	小学校

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	市内全小学校の5年生を対象に、日本サッカー協会頼アスリートの派遣を仰ぎ「夢をもつこと」「協力すること」の大切さをゲーム及び講話を通じて指導いただく。			
事業の内容	<p>小学生スポーツ教室委託事業とは、日本サッカー協会がサッカー界だけでなく他のスポーツや他のジャンルの人々が一丸となって子ども達の心身の健全な発達に貢献していくプロジェクトであり、「DREAM 夢があるから強くなる」というスローガンを掲げて夢をテーマにしている取り組みである。</p> <p>平成27年度は忍海小学校、新庄小学校、當麻小学校を対象に元K-1プロキックボクサー富平辰文氏、女子バスケット元全日本代表の原田裕花氏、サッカー元全日本代表米山篤志氏を講師に各小学校5年生を対象に実施した。</p> <p>この事業で夢先生と体験した時間は子ども達の宝として心に残るとともに、大人になって困難に直面したとき児童を勇気づける支えになるものと考えている。さらに平成28年度は市内5小学校の5年生を対象に実施した。平成29年度も市内5小学校の5年生を対象に実施する。</p>			
事業対象	市内の小学5年生			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)		区 分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
		事業費 ①	840	1,305	1,670	
内一般財源	内国・県補助金	840	1,305	1,670		
	内受益者負担	0	0	0		
	人件費 ②	0	0	0		
総コスト①+②		840	1,305	1,670		
実績と成果	区 分		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業実績	対象人数	人	352	348	423
	事業成果	授業を受けてよかった	%		98.53	
		授業を理解できた	%		83.19	
		自分の夢を考えるようになった	%		71.69	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>○対象人数(生徒数)が平成28年度348人と横ばいである。 ○総合計画の施策目標に合致し貢献している。 ○業務委託により事務効率化ができている。 ○目標達成度については、平成28年度アンケート結果により成果が上がっている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>平成27年度はアンケートがなかったが平成28年度はアンケート実施など内容が改善されている。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有識者意見	<p>第一線のスポーツ経験者に直接会い、話を聞くことは、スポーツの習得が第一目的では無いと考えます。子ども達が将来の夢を描き、人間的な成長を遂げる上で、記憶に必ず残る得がたい経験になることを期待します。</p> <p>本年度より、市内全小学校5年生を対象にスポーツの専門家の体験に基づいた講話を聞くことは、児童にとって有意義であり生涯学習につながっていくものである。これからも児童のニーズを的確に把握し、実施していただきたい。</p>
-------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>現状のまま継続し、生徒が同じようにスポーツ教室を体験できるように実施する。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	4
事務事業名	学校給食事業	担当課名	学校給食センター
係 名	学校給食センター	施設名	学校給食センター

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	安全・安心～安全がまもられ、安心して暮らせるまち～		
	政策目標	社会生活の安全性の向上		
	施策目標	食に対する安心感を高める		
事業の目的	園児・児童・生徒の心身の健全な発達のため、安全で栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、食に関する正しい理解と判断力を養い学校での食育に資することを目的とする。			
事業の内容	葛城市の給食事業は、給食センターから幼稚園5園・小学校5校・中学校2校に給食を実施している。給食数は1日4、100食である。安全・安心で栄養バランスのとれた給食を提供し、合理化・効率化を図るため両センターが連携して献立の作成や食材の共同購入を行い、設備管理等における契約業務も統一して行っている。食育の取り組みでは、引き続き地産地消を推進して地元野菜への理解を深め、毎月の献立票に「給食だより」の欄を設けて旬の野菜等の説明を入れたり、給食時の指導材料として「学級のみなさんへ」というプリントを各学級に配布したりしている。			
事業対象	幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		353,971	322,954
内一般財源			180,020	148,495	158,347	
内国・県補助金						
内受益者負担			173,951	174,459	182,847	
人件費 ②			40,764	17,418	17,006	
総コスト①+②			394,735	340,372	358,200	
実績と成果		区 分	単 位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業実績	給食材料費	千円	188,057	189,095	194,000
		内市費	千円	14,106	14,636	11,153
		内保護者負担金	千円	173,951	174,459	182,847
	事業成果	給食人数	人	4,111	4,124	4,345
		給食数	食	719,425	758,816	799,480
						人数×184回

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>平成22年4月より給食費の値上げを行っておらず、市からの助成金により運営を行っている。メニューの工夫・食材のやりくりに努力を重ねて安全・安心な給食の提供ができた。平成26年からは消費税の増税に伴い、消費税分のみ給食費に添加している。地場産物としては、米はすべて奈良県産米であり、ねぎ・鶏卵は市内産でまかなっている。季節の食材としては柿・いちご・酒かすも使用している。地場産物への理解を深め、食育の一環として今後も積極的に取り入れたい。</p>			
事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・異物混入対策 ・アレルギー対応 ・地産地消に関する取り組み 			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>アレルギー対応については、平成27年9月より新給食センターにおいて、先ず乳・卵・エビ・カニの4品目のアレルギー食品について、対応食を実施している。新給食センターでは調理配送の外部委託を実施しており、安全・安心な給食の提供を図っている。地産地消については、関係機関と連携を強化し安定的な供給ができるよう組織作りを図っていく。</p>
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	<p>食材費の一部が市費で賄われていることが気にかかります。数年かけて給食費を年度毎に値上げし、近年中にセンター運営は市費100%、食材費は受益者負担100%とすることが理想です。</p> <p>「給食だより」や「学級のみなさんへ」というプリントを配布し、食の安全・アレルギー対応及び食育の取り組みを行い、地産地消についても関係機関と連携して安定した供給に取り組んでおり、評価できる。しかし、業者委託しているごはん・パンの安全対策については、今まで以上に定期的に点検が必要であると考え。これからも、安全・安心で栄養のバランスのとれた美味しい給食の提供に取り組んでください。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえた担当課意見・数値目標等)</small>	<p>加工委託業者の指導等を強化し、安全な給食を提供するとともに、給食をおいしく感謝の気持ちで食べる食育につなげていきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	5
事務事業名	葛城歌壇短歌大会	担当課名	図書館
係名	新庄図書館・當麻図書館	施設名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	伝統文化を継承するとともに新たな文化・交流を生み出す		
事業の目的	葛城市ゆかりの万葉歌人・柿本人麻呂と、葛城市出身で日本芸術院会員・前川佐美雄の二人の偉大な歌人を顕彰し、短歌のふるさと“葛城”を目指すとともに、日本文化の継承と言語文化の創造を通して、生涯学習の拠点づくりに資する。			
事業の内容	今年度は、出詠者数1,552名、応募作品数2,774首で、最優秀賞の柿本人麻呂賞には葛城市民が選ばれ、11月26日（土）葛城市歴史博物館あかねホールにおいて、表彰式と選者による出詠作品の講評を行った。			
事業対象	小学生から大人までの市民をはじめ、すべての人々。			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
	事業費 ①		1,325	1,429	1,295	
	内一般財源		1,159	1,250	1,116	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		166	179	179	
	人件費 ②		2,579	2,363	2,412	
	総コスト①+②		3,904	3,792	3,707	
実績と成果	区 分		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業実績	選者講師謝金	千円	280	280	280
		印刷製本・送料	千円	912	940	908
		短歌講座講師	千円	20	20	20
		各種奨励費	千円	113	126	87
	事業成果	応募者数	人	1,432	1,552	1,600
		応募作品数	首	2,584	2,774	1,900
		大会参加者数	人	80	75	90
短歌講座参加者		人	24	32	35	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>毎年配付する募集案内は、前年度に応募があった方を対象に送付していたが、昨年度は、過去に遡り募集案内を送付したところ、暫く出詠が途絶えていた方々からも再び応募してもらえるようになった。また、今まで出詠が無かった小学校から新に応募が始まるなど、平成28年度は平成27年度に比べ全体で120人、190首の増加となった。</p> <p>募集案内を広く行き渡らせることが、新規応募や再応募に繋がっていくことを実感した。今後も幅広く葛城歌壇のPRを実施していきたい。</p>			
事業の課題・問題点	<p>短歌の出詠者数や出詠数は増加したものの、短歌大会の出席者数は横ばいである。現在の短歌大会の内容を10年以上続けているため、出詠者には惰性的になってしまっている。短歌大会の出席者を増やすために内容の見直しが必要と思われる。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>5月から8月まで「葛城歌壇短歌募集」のポスターを市内循環バスの車内に掲示し、宣伝を行った。また、募集期間中は、短歌に関する書籍を集めたコーナーを設置するなど、市民の短歌への関心や作歌意欲が高まるような雰囲気作りに努めた。</p>
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>市外小中学校からも出詠が増え、周知の面で成果を上げていると評価出来ます。海外への送付費用も適切で、数量も多くなく予算に負担をかけていません。毎年少しずつ工夫を凝らしているところも評価出来ます。短歌という市の独自性ある文化を今後も新しい手法で発信していただきたい。</p> <p>郷土の伝統文化を継承していくことは、大切なことである。一人でも多くの市民に葛城歌壇に関心を持つように啓発され、短歌の応募数も年々増加してきており、一定の成果が上がってきていると思われる。しかし、年齢層が高いので、若年層や小・中学生が体験できる場の取り組みが重要になってくる。そのことを踏まえ、これからも取り組んでください。</p>
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>毎年少しずつ短歌の出詠数は増え、様々な方法でPRを行ってきた成果が出てきたと感じる。しかし短歌をたしなむ年齢層は高く、20代~40代の応募はほとんど無い。若い世代へ向けて効果的なPR方法を考え、出詠数の増加につなげたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	6
事務事業名	読書活動支援・講座	担当課名	図書館
係 名	新庄図書館・當麻図書館	施設名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	市民に図書館を身近に感じていただき、図書館利用を促進する。 また、読書活動の推進や知識を身につけるため、おはなし会などボランティア団体 に対する支援を行う。			
事業の内容	葛城市民が自らの生き方を豊かなものにするため、生涯を通じて学ぶ機会となる 様々な講座を開催し、市民の知識の習得と向上を目指している。今年度は「短歌講 座」と「古文書講座」を開催し、募集人数を上回る参加があった。 また、図書館で行う「おはなし会」、保育所・幼稚園・小中学校へ出向いて行う 「おはなし配達」、職員が読み聞かせをする「こんにちは絵本」にも力を注ぎ、読書 活動の支援を行っている。今年度は、子どもの読書活動に対する大人の理解と関心を 高めるため、「絵本原画展」と「絵本講演会」を開催した。			
事業対象	市民（大人・子ども）、おはなしボランティア、学校・幼稚園・保育所の先生等			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		40	40
内一般財源			40	40	40	
内国・県補助金			0	0	0	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			1,603	1,717	1,717	
総コスト①+②			1,643	1,757	1,757	
実績と 成果		区 分	単 位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業 実績	子ども向け講座	千円	20	20	20
		文学講座	千円	20	20	20
	事業 成果	子ども向け講座	人	695	848	800
		文学講座	人	42	502	60

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>平成28年度は、これまで図書館で実施したことがない「古文書講座」を単発で行ったところ、受講者から連続講座での実施を希望されるほど好評であった。</p> <p>また、東吉野村の日本オオカミを題材にした絵本の原画展では、子どもからお年寄りまで多くの市民が鑑賞に訪れ、幅広い年齢層が「絵本」を楽しむ機会となり、子どもの読書に対する大人の関心を高める好機になった。</p> <p>さらに、毎月の「おはなし会」は、参加する子どもが低年齢化しつつある中、おはなしボランティアと図書館が協力しながら取組み、本にふれる楽しさを子ども達に伝えた。</p>			
事業の課題・問題点	<p>読み聞かせを推進するため「絵本講演会」を行った。参加者から「有意義な話が聞けた」と高評であったが、出席者が少なく講演会の目的を達成することができなかった。原因として、講演会の広報が限定された範囲であったこと、同日に他課の事業が重なったことがあげられる。今後は広く事業の周知を図り他課とも連携し、市民の知識の習得と向上、読書の推進に努めたい。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>子どもの読書推進を図るため、おはなしボランティアや元幼稚園教諭の協力を得て、子どもを対象にした事業を実施しているが、平成28年度から毎月第3木曜日に新庄図書館で職員による絵本の読み聞かせを始めた。開始当初は少なかった参加者も月を追うごとに少しずつ増加し、今では定着した事業になっている。今後は當麻図書館でも実施を検討したい。</p>
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>毎年工夫を重ね、着実に事業成果に結びついています。参加児童の低年齢化も保護者を巻き込む結果を生み出し、親が子どもに読み聞かせを行うといった本来あるべき読書習慣へと導いています。</p> <p>学校・幼稚園・保育所の子どもの読書活動支援は、十分目的を達成でき定着してきている。また、大人対象の支援・講座も開催され充実してきている。今後とも、気軽に利用できる図書館を目指していただきたい。</p>
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>これからも市民のニーズに合う講座を開催し、市民が生涯を通じて学べる機会となる場を提供していきたい。また、ボランティアと協力しながら、子ども向けの講座の幅を広げることも検討したい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	7
事務事業名	ブックスタート事業	担当課名	図書館
係 名	新庄図書館・當麻図書館	施設名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	子育てと生きがいの両立		
	施策目標	地域で支えあいながら、楽しく子育てができるようにする		
事業の目的	赤ちゃんや保護者が触れ合う機会をつくれるよう絵本を介して、行政と地域が連携して子育てを支援する。			
事業の内容	<p>赤ちゃんや保護者が絵本を楽しみながら、かけがえのないひとときを過ごし、親子のコミュニケーションが豊かに育めるよう、おはなしボランティアと協力し、4ヶ月児健診では絵本の読み聞かせを行うとともに、赤ちゃん絵本を1冊プレゼントする「ブックスタート」事業を実施している。</p> <p>また、2ヶ月児健診は「こんにちほえほん」と称し、保護者を対象にブックスタートの意義を説明し、保護者にも絵本の読み聞かせを体験してもらおう取組を行っている。</p>			
事業対象	4ヵ月児健診対象の赤ちゃんとその保護者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算
		事業費 ①		302	294	307
事業コスト (単位：千円)	内一般財源		302	294	307	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		827	529	529	
	総コスト①+②		1,129	823	836	
実績と成果	区 分		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業実績	ブックスタート	千円	302	294	307
	事業成果	ブックスタート	組	380	328	330

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>赤ちゃんに絵本を見せているお母さんの姿を、図書館でよく見かけるようになった。また、図書館の職員に赤ちゃんにおすすめの絵本を尋ねるお母さんや、赤ちゃんのために熱心に選書をするお母さんが増え、毎月実施している「ブックスタート」や「こんにちは絵本」の理念が、赤ちゃんを持つお母さんに伝わっていることが実感できた。 ブックスタートをきっかけに、図書館の利用やおはなし会など催しへの参加者も増加している。</p>			
事業の課題・問題点	<p>おはなしボランティア2団体の協力を得て、順調に事業を進めることができています。しかし、長期にわたり安定した「ブックスタート事業」を行うためには、新しいボランティアの育成が必要である。 また、本市では、健康増進課・ボランティア・図書館が協力し「ブックスタート事業」に取り組んでいるが、運営の幅を広げるため連携できる機関を増やす必要がある。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>ブックスタートでは、ボランティアの協力は不可欠であるが、図書館職員も絵本の読み聞かせ等の技術力を磨くため、毎月第3木曜日に図書館職員による絵本の読み聞かせを行い、スキルアップを図っている。</p>
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>本事業は図書館利用推進に最も効果を挙げている事業であると考えます。赤ちゃん絵本を結びつける活動が、そのまま市民と図書館を結びつけています。過去不安視されたボランティアの人材不足は解消の兆しが報告されていますが、今後も事業継続に向けて人材確保の努力が必要です。</p> <p>絵本を通しての親子のふれあいの場を提供することは、心豊かな人づくりにつながるともに子育て支援に十分貢献している。今後も行政と地域が連携して実施してください。今後、この事業を継続していくためにもボランティアの育成に力を入れていく必要があると思われる。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>ブックスタートを実施するうえで、ボランティアの協力が不可欠である。今後もボランティアの人材確保と育成に取り組み、安定したブックスタート事業の運営につなげていきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	8
事務事業名	成人式式典事業	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	新成人が大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますため、国民の祝日に関する法律に基づく成人の日に合わせて本事業を行う。大人としての責任を感じ、義務を果たすことの必要性を実感するための機会としたい。			
事業の内容	新成人による新成人のための成人式にするために、新成人からスタッフを募集し、企画・運営等について協議を重ね、会場舞台設営や飾り付け等の諸準備も行うなどして、本事業を実施する。			
事業対象	新成人及び新成人関係者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		944	948
内一般財源			944	948	1,000	
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②			3,280	3,233	3,233	
総コスト①+②			4,224	4,181	4,233	
実績と成果	区 分		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業実績	決算額	千円	944	948	1,000
		スタッフ会議	回	7	7	7
	事業成果	参加者数	人	264	290	250
		対象者人数	人	357	371	340

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>新成人からスタッフを募集することにより、新成人の企画を多く取り入れた成人式を実施することが出来ている。参加者からの評判も良い。 また、以前の成人式は記念品などに多くの予算を費やしていたが、平成25年度からは「記憶に残る成人式」を目指し、平成28年度は新成人のピアノ演奏や恩師などのトークショーなどで会場は盛り上がりを見せ、成功裏に終えることが出来た。 このように従来とは違ったスタイルでの成人式を実施することで、他市町村と比較して高めの参加率につながっていると考えられる。</p>			
事業の課題・問題点	<p>新成人スタッフを中心となって事業を推進するにあたり、その年のスタッフの能力や積極性に左右され、安定した成果を生むことが難しい。またスタッフは中学卒業時に各中学校を通じてお願いしているが、当時とは状況が変わるのでスタッフが集まりにくい年がある。 これまでの経緯や実行委員会のノウハウを上手くスタッフ側へ伝達し、その年の新成人の色を出してやるのが課題である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	年度を重ねるごとに、行政が培ってきた経験を新成人スタッフへ伝達し、スタッフへのアイデアに幅と深みが生まれるように、指導・助言を行っている。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>行政からの押しつけではなく、葛城市の成人式は新成人の自主性を促すきっかけとなっています。8割近い高水準の参加率に加え、マスク等で騒がれるようなトラブルが発生していないことも評価出来る点です。ボランティアスタッフと行政との距離感も適切であると考えます。</p> <p>本年度も第Ⅰ部式典、第Ⅱ部新成人スタッフを中心となつての企画運営は、大変有意義であり、記憶に残る成人式になり評価できる。また、中学生卒業生にスタッフの案内文書を配布することによって、スタッフの確保にも取り組んでいる。これからも、事業の目的達成に向けて取り組んでいってください。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>今年度より、中学生卒業時に案内していたスタッフによる成人式を迎えることになったが、18人中15人がスタッフとして協力いただくことになり、すでに7月現在で2回スタッフ会議を行い、実施に向けて順調に進んでいる。今年度も含め来年度以降もスタッフの確保はスムーズにできる状態にあるので、今後も今まで同様、更に内容の充実した成人式を期待できる。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	9
事務事業名	生涯学習人材バンク事業	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施設名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	<p>豊かな知識・経験・技能等をお持ちの市民にボランティア活動として学校教育や社会教育のお手伝いをいただき、本市教育のより一層の振興を図ろうとするものである。</p> <p>健康で生き甲斐のある明るく住みよいまちづくりに役立つことを目的に、人材バンク募集・登録及び派遣により生涯学習の推進を図る。</p>			
事業の内容	<p>人材バンク募集及び登録に基づき、自主的に活動している市内の団体やグループ、サークル等の学習活動の支援のための斡旋や派遣を行う。</p>			
事業対象	市内自主活動グループ等			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		26	26
内一般財源			26	26	30	
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②						
総コスト①+②			26	26	30	
実績と 成果	区 分		単位	平成 27 年度実績	平成 28 年度実績	平成 29 年度(目標)
	事業 実績	決算額	千円	26	26	30
	事業 成果	登録者数	人	57	57	60
		派遣講師数	人	21	25	40
		受講者数	人	27	24	40

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">C</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>人材バンクの指導分野は新しいジャンルのものが増えてきているが、平成25年度から登録者数は高齢化もあり減少傾向である。 派遣依頼数は極僅かであり厳しい状況が続いている。他課が実施する事業への講師派遣の実績があるが、今後も積極的に新規開拓を行っていかなければならない。</p>			
事業の課題・問題点	<p>派遣依頼数が少ないため、他の事業へ積極的に講師を紹介し人材バンクの利用を促したい。 また、近年、個人からの派遣依頼の問い合わせもあり、元来は団体からの依頼のみ受託しているのが、個人の問い合わせにも紹介を行っている。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	市広報での紹介や他課への事業説明と講師紹介を行っている。
-------------------	------------------------------

(有識者意見)

有識者意見	<p>趣旨は良いですが、実働が伴っていないことが問題です。時代に応じた改革が必要であると考えます。</p> <p>25年度より人材バンクの登録者数が減少傾向にあるとのことですが、登録者の派遣依頼が少なく、有意義な活動ができていないことに問題があると思われる。この事業の目的を再確認し、講師派遣の場を再開する必要がある。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>長年この事業を行ってきたが、年々人材バンクの利用が減ってるのが現状で、ここ数年は夏休み限定で行う囲碁教室だけの利用となっている。人材バンク登録者と相談の上、各機関への紹介を行い、利用が見込まれるかどうかを見極め今後の方向性を決めていきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	10
事務事業名	青少年健全育成事業	担当課名	生涯学習課
係 名	青少年健全育成事業	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	次代を担う青少年の健全な育成を地域ぐるみで図る。			
事業の内容	市青少年健全育成協議会を組織し、所属団体の校長会・生徒指導主任者会・PTA協議会・県青少年指導員・高田警察署少年補導員の5団体間の連絡調整を行い、下記の活動を推進する。 ①広報・啓発活動の推進(市広報誌への掲載・駅等での啓発活動) ②非行防止と環境浄化運動の推進(遊戯施設や花火大会等での巡視活動)			
事業対象	市内青少年			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		400	400
内一般財源			400	400	400	
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②			1,549	1,742	1,742	
総コスト①+②			1,949	2,142	2,142	
実績と成果	区 分		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業実績	会議	回	5	5	5
		研修会	回	1	1	2
		巡視活動	回	3	3	4
		街頭啓発	回	2	2	2
	事業成果	会議	人	79	73	80
		研修会	人	5	5	10
		巡視活動	人	42	53	60
		街頭啓発	人	75	54	60

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	各種イベントでの啓発活動やのぼり旗の設置、巡回指導など当初の活動計画どおりに実施できたが、メンバー自身各々の仕事を持ちながらの活動でもあり、限られた時間で互いに協力して活動できるような取り組みを進める必要があると考える。 巡視活動・啓発活動は各所属団体でも実施しているが、実績と成果に掲載した数は市青少年健全育成協議会が全体で取り組んだ数を示す。			
事業の課題・問題点	7月の「青少年の非行・被害防止強調月間」及び11月の「子ども・若者育成支援強調月間」についての啓発活動を行っているが、市民が意識を持って自分たちの手で地域の青少年を育成するという行動に結びつくところまでには達していない。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成28年度からこども・若者サポートセンターが設置され、家庭環境やこころの病などに起因する青少年健全育成の課題について連携を図っているが、さらに高めていきたい。
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有識者意見	事業実績の面で比較的高いレベルで推移しており、予算に対して十分な実績を挙げていると考えられます。ただ、事業目的にある「地域ぐるみで図る」ためには、現状よりもステップアップが必要で有り、例年通りの活動に加えて新たな取り組みを見出さなければいけません。 青少年健全育成協議会は、5団体で組織され地域への情報提供・巡視活動・啓発活動を行い取り組んでもらっている。しかし、地域を巻き込んで青少年を育成するところまでは至っていないと思われる。これからもあらゆる場面で、特に情報提供及び啓発活動に力を入れていく必要がある。
-------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	青少年健全育成協議会会員による啓発活動や非行防止にはある程度の実績を上げていると思うが、地域を巻き込んだ取組みはまだまだである。5団体で組織されている青少年健全育成協議会は、比較的市内全体に居住されている会員が多いので、今後会議等で検討し新たな方法を模索しながら事業を進めていきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	11
事務事業名	学校・地域パートナーシップ事業	担当課名	生涯学習課
係名	生涯学習係	施設名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	学校教育の充実と地域・家庭の教育力の向上を図り、地域住民と生徒との異世代交流を通して地域の連帯感を高める。			
事業の内容	学校教育の充実と地域・家庭の教育力の向上を図るため、市内各小・中学校に学校支援地域コーディネーターを設置し、学校支援ボランティアの派遣等を行いながら環境整備支援活動等を中心に支援を行っている。			
事業対象	市民及び市内小中学校教員			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		3,001	2,999
内一般財源			1,154	1,237	1,000	
内国・県補助金			1,847	1,762	2,000	
内受益者負担						
人件費 ②			1,510	2,238	2,238	
総コスト①+②			4,511	5,237	5,238	
実績と成果	区 分	単 位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)	
	事業実績	運営委員会に係る経費	千円	464	447	460
		教育支援活動に係る経費	千円	2,537	2,552	2,540
	事業成果					

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>これまでの事業は、学校の花壇整備など環境整備中心の支援であり、地域住民や学校を訪れる保護者などから校内の花壇が見違えるほど美しくなったとの声が聞かれ、本事業が一定の効果をあげることができたと考えるが、さらに平成25年度より収穫した野菜などを使った食育やミシンなど家庭科支援にも取組みを行ってきている。また、コーディネーターには常に情報共有を図りながら学校間の交流なども行っている。さらに様々な学校行事にも補助員としてその都度、協力いただき学校・生徒からも信頼されている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>支援を行うためのボランティアの確保が当初からの課題であったため、それぞれの学校でPTA総会での呼びかけや保護者への案内文の発送等で募集を行っていただく事により年々増加の傾向にある。開始から6年が経過し、この事業そのものが相当認知されてきている。 ボランティアは年々増加しているが、各学校のコーディネーターの高齢化が進んでいる。各学校とも次期コーディネーターの育成が必要である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>年々、本事業は活発になり、ボランティアの数も増えてきている。なお一層の効果を上げられるように、マンネリ化することなく続けていきたい。</p>
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>本事業に於ける葛城市の取り組みは、県内でも高い評価を得ています。地域でも評判は良く、子ども達の思い出に残る学校事業にもなっています。事業に於けるコーディネーターの役割は大きく、課題に述べているように次代の人材育成が急務です。副コーディネーターを設けるなど、ソフト面の拡充を検討して下さい。</p> <p>地域とともにある学校を目指すためにもこの事業は重要であり、本年度、活動内容も去年度より多様化してきており、地域住民と子どもたちとの交流が深まり、充分評価できる。これからも、地域・家庭の教育力を活用し、より一層の効果を上げるよう取り組んでください。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>この事業は、年々学校における評価も高まり、比較的高水準での事業を進めている。その反面コーディネーターの高齢化が進んでおり、次期コーディネーターの育成も急務である。 今後は、現コーディネーターとともに各校ボランティアを含めて、単なるボランティアではなく、ある程度の組織化も検討していかなければならない。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	12
事務事業名	生涯学習まちづくり推進大会	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施設名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	参画・活力～市民と行政が目標を共有し、ともに取り組むまち～		
	政策目標	市民参画による協働のまちづくりの推進		
	施策目標	地域コミュニティ・団体を育てる		
事業の目的	主に市内の小・中学校生の日頃の思いを発表する場とモデル分館(毎年2館指定)が、1年間の生涯学習活動の成果について発表を行う場として本事業を捉えており、明るく楽しい「生涯学習まちづくり」の推進を目指している。			
事業の内容	①平成28年度モデル分館として指定を受けた八川分館及び尺土集会所による生涯学習活動発表 ・伝統文化の紹介、地域文化継承及び文化資源の保存等や地域防災活動の取組 ・花いっぱい活動や講座・教室等を通じた区民の交流の機会・場づくりを目指した取組 ②モデル分館指定を受けている2分館による絵画、写真等の展示 ③市内小中学校児童・生徒による学校での体験学習や生活発表的な作文の朗読 ④菊花展表彰式			
事業対象	市民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)		区 分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
		事業費 ①		615	407	594
		内一般財源	615	407	594	
		内国・県補助金				
		内受益者負担				
		人件費 ②	1,133	1,492	1,492	
		総コスト①+②	1,748	1,899	2,086	
実績と 成果	区 分		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業 実績	参加人数	人	592	491	600
	事業 成果					

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	平成28年度にモデル分館と指定された2館による、各地域における伝統文化や新たな取組等の紹介が行われ、地域文化を再認識、そして新しい時代に即した文化の創造していく地域ぐるみでの取り組みなど、そしてなによりも生涯学習活動を通じて、とかく希薄になりつつある地域住民の交流の輪を広げる良い機会となっていることに加えて、小中学生の作文発表や文化団体による発表などは、人生の糧となり得る貴重な体験をすることが出来る事業と考えている。			
事業の課題・問題点	モデル指定分館(2館)の発表について、残り12分館となり、複数分館を抱える大字については再度の活動報告を求められるケースが出てきている。本年度についても例年どおり輪番での2館で予定をしているが、特に対象者の少ない分館などは、これまでも複数分館を合同で行いたいとの意見もあり、これらの分館については、実情に応じた合同での事業や一ヶ大字での事業についても当該分館の目線で発表いただくなどの対策を講じている。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	指定した分館に年度当初に行っている説明会では、不安を口にされる方も多く見受けられるが、普段行なっている活動に若干の工夫や追加を行なうことなどを提案。生涯学習を糸口として、地区住民が地域の伝統行事や歴史、生活様式などを通じ、希薄になりつつある地域共同体の再生など目標を持って取り組むことの重要性を理解してもらい、自治会活動そのものへの、参加しようとさせる動機付けの大切さや共通した目的を達成することの充実感を味わってもらえるよう助言している。
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>市内68分館の内、未発表の分館が12分館となり、数年後には事業の大きな節目を迎えようとしています。地域間の平等性からも全分館終了まで数年は事業を現状継続するとして、節目後にどうすべきかをそろそろ議論し始めなければいけません。</p> <p>この事業は、モデル分館の生涯学習発表の場及び小・中学生の作文発表・文化団体による発表など、地域住民の活発な交流を推進する良い場になっている。残り12分館が終わった後も、継続していただきたい。そのためにも今後、事業内容の検討もお願いしたい。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえた担当課意見・数値目標等)</small>	この事業は、あと数年でモデル分館活動の発表が終了となるので、継続することを前提で新たなまちづくり推進大会を各機関とも相談し検討していきます。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	13
事務事業名	葛城アートフェア事業	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施設名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	葛城市の芸術文化のより一層の振興を図るとともに、芸術文化を通じ市内外の住民の交流・地域の活性化を図り、「魅力あるまち葛城市」の発信を目的とする。			
事業の内容	葛城市の文化遺産・展示施設に一般公募の芸術作品を展示し、葛城市を美術館化する試み。アートを通じて広く葛城の魅力を発信するイベントを行う。			
事業対象				
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	平成 27年度 ～ 平成 (未定) 間

(実施内容)

		区 分	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		5,847	7,635
内一般財源			61		2,667	
内国・県補助金			5,000	7,635	5,333	
内受益者負担			786			
人件費 ②			5,298	5,472	5,472	
総コスト①+②			11,145	13,107	13,472	
実績と 成果	区 分		単位	平成 27 年度実績	平成 28 年度実績	平成 29 年度目標
	事業 実績	決算額	千円	5,847	7,635	8,000
	事業 成果	来場者数	1日当	1,837	2,021	2,200

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	前年度から引き続き2回目の開催であったが、前回より開催期間が早まったこともあり、募集期間が短く出品者の減が心配されたが、昨年より出品者数は増えた。(第1回229点、第2回238点) 来場者数は1日あたりに換算すると前回よりも増えている。さらに増やせるようPRに力を入れた。 また、葛城通信として配布したフリーペーパーや市内幼小中学生や文化協会書道クラブなどの企画展示なども概ね好評であった。			
事業の課題・問題点	昨年に引き続き、各方面から様々な意見をいただいた内容を反映させることにより、前回よりはスムーズに実施できたが、搬入搬出方法や展示方法など改善すべき箇所がある。 出品者、来場者の数は昨年より上回ったが、市民の出品者数は全体の2割にも満たない状況である。募集要項も広報誌とともに配布するなどしているが、抜本的な工夫が必要である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	市民の出品者増を実現するため、市内掲示板などへのポスター掲示や広報誌とともに申し込み要領を配布したりするのはもちろん、各学校や各種団体などの各方面にも参加の働きかけを行っていききたい。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	2年目ということで初回の経験を活かした事業構築・運営が出来ていると考えられます。今後補助金が減額・廃止されることが分かっているので、事業のあり方についての議論は必須ですが、当初の趣旨を鑑みて方向性を定め、未来志向、対外指向の強い事業にしていきたいです。 本年度も葛城市の文化遺産・展示施設を利用して一般公募の芸術作品の展示及び葛城の魅力を発信するイベントを実施することによって、目的である「魅力あるまち葛城市」の発信は、おおむね達成できている。しかし、去年度と同じく、作品において市内の応募が少ない点が今後実施していく上での重要な課題である。啓発活動の再検討が必要である。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえた 担当課意見 ・数値目標 等)	芸術のイベントであるため、一般公募における市民の参加が少ないのは致し方ない部分もあるが、今後、展示会場も含めて今回のアートフェア終了直後に実行委員会で検討し、来年度以降の方向性を定めていきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	14
事務事業名	公園まつり実行委員会業務	担当課名	中央公民館
係 名	中央公民館係	施 設 名	中央公民館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	地域住民が集う中で、市民ひとりひとりが仲間としての絆を強め、地域文化への理解をより一層深めることで誇りをもった活力あるまちづくりへの参加を目的とする。			
事業の内容	葛城市公園まつり実行委員会を主催者として、葛城市体育協会および区長会をはじめとする約23団体の協賛により屋敷山公園一帯で野外イベント（太鼓や踊り、戦隊ショー、パフォーマンスショー、演劇、フラダンス、吹奏楽等）を実施するとともに、模擬店、フリーマーケットの出店、盆栽の展示即売会、似顔絵、古本市にニュースポーツなどを同時に行う。			
事業対象	市内地域対象住民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/> 区分指定無	<input type="checkbox"/> 平成	～	平成 間

(実施内容)

		区 分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
		事業コスト	事業費 ① (千円)		1,500	1,500
内一般財源(千円)			1,500	1,500	1,500	
内国・県補助金(千円)						
内受益者負担(千円)						
人件費 ②			2,921	2,590	2,591	
総コスト①+②(千円)			4,421	4,090	4,091	
実績と成果	区 分		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業実績	決算額	千円	1,470	1,493	1,500
		企画運営委員会	回	1	1	1
		実行委員会	回	1	1	1
	事業成果	参加人数	人	10,000	10,000	10,000
		協賛団体	団体	22	23	21

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	平成25年度から毎年5月3日開催に固定したことにより、市民のみならず市外の方々にも定番行事として広く知られるところとなり、多数の来場者で賑わった。また、終日好天にも恵まれ、野外イベントをはじめ模擬店、フリーマーケットも大盛況で、非常に盛り上がった。			
事業の課題・問題点	昭和50年から40年近く続いている伝統ある事業であるが、毎年の開催であるため、イベント内容がマンネリ化しないよう工夫を凝らす必要がある。 また、協賛願っている各種団体の方々には、公園まつりの他の催し物等にも参加して楽しいひと時を過ごしていただけるよう、運営体制を改善していかなければならない。			
評価を受けての改善点(過去3年間)	平成24年度から中央公民館に事務局が置かれたことで、準備作業がスムーズに行えるようになった。また、駐車場を増やすことで交通渋滞も解消された。			

(有識者意見)

有識者意見	実行委員会への委託事業であるが、行政サイドとして会議内容等の把握もできており、適切な距離感が保たれていると思います。イベント関連は年々消防や保健所の規則が厳しくなっておりますので、法令に則した事業構築を心掛けて下さい。 伝統的な事業であり、住民も楽しみにしている事業である。毎年マンネリ化にならないように実行委員会が主体となって、関係団体に働きかけ円滑に事業が実施され充分評価できる。これからも、活力あるまちづくりに貢献できるように取り組んでいただきたい。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	地域住民の皆様をイベントの主人公とすることこそ、地域活性化という点で不可欠な手法であると考えます。その下支えを行政がいかにするかも問われるところですが、地域住民の皆様同士の多様な出会いを促し、新たなコミュニティー、住民パワーを引き出せるよう努力したいものです。	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	15	
事務事業名	地区館教室・講座事業	担当課名	中央公民館（當麻文化会館）
係 名	地区館係	施設名	5 地 区 館

（ 計 画 ）

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	生涯学習社会の構築を目指す一環として、地域において趣味を同じくする人々や教養を身につけたいと思う人々が地区館に通い、自主的な活動を推進する機会を提供するとともに、交流を深め、活動の輪を広げる。			
事業の内容	<p>生涯学習社会の構築を目指す一環として、地域において趣味を同じくする人びとが地区館に集い、自主的な活動を図るとともに交流を深めるものである。</p> <p>疋田、忍海、北花内、磐城、當麻の5地区館で絵画等13教室、俳句の1講座を開講し、教室は6回～20回の実施、講座は4回実施で開講している。</p> <p>開講にあたっては、毎年3月の『広報』とともに各戸配布する『教室・講座ガイド』に掲載し、受講生の募集を行っている。</p>			
事業対象	市内 在住・在勤者			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

（ 実施内容 ）

		区 分	単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)	
		事業コスト		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
事業費 ① (千円)	1,226		1,154	1,226			
内一般財源(千円)	1,226		1,154	1,226			
内国・県補助金(千円)							
内受益者負担(千円)							
人件費 ②	1,276		1,244	1,244			
総コスト①+②(千円)	2,502		2,398	2,470			
実績と成果		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)			
	事業実績	各種教室・講座	総回数	138	132	133	
	事業成果	参加人数	人	247	250	238	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	身近な地区館・分館において生涯学習教室・講座を開催することで、気軽に参加受講でき、学習意欲の向上と生涯学習の進展に大きく寄与している。料理・絵手紙・太極拳・パッチワークの4教室では講座開始後及び終了前のそれぞれ15分間程度、また、書道・ちぎり絵の2つの教室については終了までスタッフが同席して講師とも協力のうえ教室の支援をきめ細やかに行うとともに、受講者のニーズの把握に積極的に努めた。受講者が学ぶ過程で、他の受講生との出会いや一体感さらには受講生同士の絆が生まれ、教室・講座をより楽しいものと考えていただき学習効果もあがっている。			
事業の課題・問題点	毎年継続して受講しておられる方が多数あり、新しい受講者と習熟度に違いが生じている教室・講座もある。また、新しい講座や教室開設の要望もあるが、予算と場所の関係もあり、引き続き検討課題事項である。 定員をオーバーした教室・講座が3教室ある。講師の好意と受講者の理解により実施することができた。昨年度に引き続き、これも今後の課題点である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成27年度、受講者のニーズに応えるべく学習回数増加を図った。また1教室(北花内書道教室)を新しく開講した。学習内容のマンネリ化をなくしていくため、手芸教室の講師を変更した。平成28年度も、受講者のニーズに応えるため、当麻地区手芸の内容を変え、パッチワーク教室にした。2教室(茶道教室、パッチワーク教室)も新しく開講した。平成29年度、絵画教室の講師の変更を行い、1教室(民謡教室)を新たに開講した。
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有識者意見	広い葛城市域の市民に生涯学習の機会を提供する上で、中央公民館だけでなく各地区館でも教室・講座を展開している本事業は、効果を挙げていると考えます。ただし、機会の提供という面を軸に考えるならば、講座のローテーション及びニーズに応じた改変が常に必要です。 毎年、地域の学びのニーズを的確に把握し実施され、本年度も学習回数を増やしたり、新講座を開講したりしてマンネリ化をなくすなど、一定の成果が見られる。これからも、誰でも気軽に参加できる地区館活動に力を注ぎ、生涯学習の定着に向け努力していただきたい。
-------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	機会の提供という点からのローテーションや内容改変につきましては、今後さらに努力を重ねたいと考えます。地域住民の皆様のニーズの的確な把握に努めるとともに、新しい学びの提案も主催者側から行いたいところです。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	16
事務事業名	中央公民館 當麻文化会館 教室・講座事業	担当課名	中央公民館・當麻文化会館
係 名	中央公民館係	施設名	中央公民館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	市民等の教育、学術、文化及び教育向上のため、「教室・講座」を開講して学習活動を支援するとともに、仲間づくりなど交流の機会を提供する。			
事業の内容	<p>『社会教育法』第20条(目的)、第22条(公民館の事業)ならびに『公民館の設置及び運営に関する基準』第3条(地域の学習拠点としての機能の発揮)に基づき、市民等の教育、学術、文化及び教養の向上のための「教室・講座」を開講して学習活動を支援するとともに、仲間づくりなど交流の機会を提供する。</p> <p>1. 中央公民館では、 7 教室 成人⑤：華道、きもの着付け等、子ども②：絵画、茶道 2 0 講座 成人⑩：菊づくり、ガーデニング、暮らしのマナー 等 子ども⑧：親子クッキング(土・日)、親子お菓子・パンづくり(土・日)、親子陶芸(土・日)、野外活動体験 等</p> <p>2. 當麻文化会館では、 2 4 講座 成人⑩：絵画、男の食卓等(9)、1日講座(5)、パソコン講座(6) 子ども④：親子おもしろ工作(A,B)、寺子屋、葛城塾 を開講。 開講にあたっては、毎年3月の『広報』とともに各戸配布する『教室・講座ガイド』及び市のホームページ上の「e古都なら 奈良電子自治体共同運営システム」において、市民に周知するとともに、受講生の募集を行っている。</p>			
事業対象	市内在住者・在勤者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算
事業コスト	事業費 ① (千円)	内一般財源(千円)		4,087	4,226	4,526
		内国・県補助金(千円)		4,087	4,226	4,526
		内受益者負担(千円)				
		人件費 ②		12,512	10,962	10,968
	総コスト①+②(千円)		16,599	15,188	15,494	
	実績と成果	事業実績	区 分	単位	平成27年度実績	平成28年度実績
中央公民館			謝金	2,752	2,849	3,073
當麻文化会館			謝金	1,335	1,377	1,453
合計			謝金	4,087	4,226	4,526
事業成果		中央公民館	受講者数	3,790	3,689	3,875
		當麻文化会館	受講者数	1,813	2,088	2,387
		合計	受講者数	5,603	5,777	6,262

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	学習の促進とふれあいの場を提供することを目的に、成人・子ども・親子を対象とした各種教室・講座を実施している。 成人講座では、華道、茶道、書道、料理、着付け、ヨガ、パソコンといった趣味や教養を活かした講座を、子ども・親子講座では「作る楽しさ」を学ぶ料理やパン・菓子づくり、陶芸を開催した。 また、夏休みには子ども向けのイベント講座として、野外活動体験、寺子屋を開催したところ、どの講座も人気を博し、受講者の受講意欲や関心が非常に高く、親子対象講座を中心に多くの講座が抽選となっている。			
事業の課題・問題点	教室・講座は受講料無料(教材費等は受講者負担)のため安易に捉えられるむきがあるのか、定員確定後に辞退される方がおられ、教材を発注済みの場合は費用負担をお願いしている。 同じ教室や講座を毎年受講される方が一部見受けられる。ヨガ講座は毎年定員の2倍以上の応募があり、なかなか受講できないとの声がある。逆にパソコン講座では、後期受講者が毎年少なくなっている(定員の半分程度)。前期については、学習定着のため開催回数を増やしてほしいとの要望がある。また、当館のパソコンがウィンドーズ10への更新がされない点も課題となる。28年度講座終了後、布花講座、ランプシェードの講師より来年度の講師辞退の申し出があった。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成27年度は、新しい内容の講座を1日講座として5講座設けた。平成28年度は、応募しやすいように着付け講座を内容別に2つの講座に分けた。パソコン講座では、応募が少ない3つの講座を1つにまとめ新パソコン講座とした。また、新たにワード、エクセル中級コースを設けた。親子おもしろ工作講座では、7月の土日4回講座を、A班として7月に2回、B班として8月に2回開催することにした(別々に応募可能とした)。平成29年度は、布花講座と1日講座のランプシェードに替わり、ヨガを2講座(前・後期)にし、1日講座としてたのしいマジックショーを設けた。また、パソコン講座の後期募集を止め、前期のみの通年開催とし、開催予定のところを6回から10回に増やした。さらに、匠の和食とプリザーブドフラワーの2講座を新たに開講したところ、予想以上に人気を集め、受講者決定には抽選せざるを得なかった。
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有識者意見	子ども向け、成人向けなど年齢層に応じた講座展開をすることで幅広い年齢層へ生涯学習の機会を提供しています。また、市民のニーズに応じて講座改変なども適切に行われています。親子講座など施設定員上、ニーズに応えきれない講座もあります。 教室・講座とも内容が豊富で一定の成果が見られる。これからも地域住民の学習ニーズを的確に把握し、教室・講座の精選を行い、誰でも気軽に参加できる教室・講座の実施に取り組んでください。また今後、新講座等での講師の確保・開拓にも力を注いでいく必要があるだろう。
-------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	教室・講座の実施、運営を評価いただき、ありがたい限りです。地域住民の皆様のニーズを踏まえるとともに、こちらからも新たな学びを提案し、それによって生涯学習のさらなる充実を図りたいと考えます。講師の確保・開拓も、その意味で重要な業務であると考えます。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	17
事務事業名	文化振興事業	担当課名	新庄・當麻文化会館
係名	総務係・文化会館係	施設名	新庄・當麻文化会館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	市民に質の高い文化に触れる機会を設け、葛城市芸術文化を発信し、創出する。			
事業の内容	<p>魅力ある芸術鑑賞事業を展開することによって、市民が新たな芸術、文化に触れる機会を提供し、また、自らがいきいきと芸術文化活動に参加することにより、地域の文化水準の向上を目指していくことを目標としている。</p> <p>平成28年度はミュージックコンサートとして夏川りみと京フィルコンサートや玉置浩二コンサートを開催するとともに、子ども・ファミリーを対象とした映画等の自主事業を実施した。</p> <p>次に市民参加・参画型事業として、新庄文化会館では新たな試みとして劇場型謎解きゲームをはじめJ-POP限定のど自慢大会、市民劇団『風塾』の公演を、また當麻文化会館においては国民文化祭のプレ事業として和太鼓「蓮花」五周年記念コンサートをはじめ市民劇団『くすのき』の公演、夕涼みコンサート、アンサンブルウィズクリスマスコンサートを開催した。</p>			
事業対象	市民及び近隣市町村の住民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		16,972	18,471
内一般財源			11,895	11,700	18,447	
内国・県補助金			255	235	1,000	
内受益者負担			4,822	6,536	11,150	
人件費 ②			7,951	8,329	8,622	
総コスト①+②			24,923	26,800	37,735	
実績と成果	区 分		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)	
	事業実績	自主事業入場料	千円	4,822	6,536	11,150
		自主事業委託料等料	千円	16,777	18,195	28,113
	事業成果	自主事業入場数	人	4,544	5,041	5,200
		自主事業(有料)開催数	本	3	4	5
		自主事業(無料)開催数	本	8	8	8

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>市民参加・参画型のJ-pop限定のど自慢、市民劇団、クリスマスコンサート等の公演事業は周知がかなり進み、市民が手軽に文化や芸術と触れあえる機会、自らが創造、発信するかけがえのない機会として大変有意義なものとなっている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>有料の事業については、市民が興味や関心、期待感を持ち、満足していただける事業を実施することで、集客人員の増加が期待できる。観客ニーズにあった公演等にしぼりこんで計画し満席にする方向を目指しているが、財政面から考えると、観客のニーズにあった自主事業においてもキャパシティの面で事業コストの課題が残るため、事業本来の目的と市民ニーズの兼ね合い等を十分に慎重に検討していきたい。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>ポスターチラシ等を置いてもらえる場所の発掘や、タウン誌などの無料広告を利用して他方面に周知し宣伝効果を上げることによって集客につながられた。自主事業公演時に毎回アンケートを実施し、ニーズにあった催しを開催することでチケット完売を概ね達成できた。さらに新たな試みとして「友の会」特権としてのイベント開催やキョードー大阪との共催事業、また「宝くじ文化事業」を活用し補助を受け、盛況に終わることができた。</p>
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>葛城市に全国規模のアーティストを招き高品質の芸術鑑賞の機会を提供するという面と、市民自身が芸術文化の主役となり葛城市自体の芸術レベルを上昇させるという二面性を持つ事業です。一流アーティストの公演では一般的に施設収容人数2000人以上で黒字化が可能になるということで、市費を上乘せせざるを得ないのですが、市の将来を見据えれば前向きな投資であると考えることが出来ます。</p> <p>キャパシティの面で、どうしても事業コストに課題はあるが、毎回アンケートを実施することによって市民のニーズを把握し、事業内容を検討するとともに、啓発活動にも力を入れ実施されている。政策目標である「心豊かな人づくり」に貢献しており評価できる。これからも市民に質の高い文化に触れる機会を多くつくっていただきたい。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>今後も住民参加・参画型の事業を継続するとともに公立文化施設として発表会、練習等文化芸術への場の提供を行います。特に新庄文化会館では有料自主事業を中心に予算も鑑みながら、質の高い住民ニーズにあった公演を計画していきたいと考えております。また、當麻文化会館においては文化活動支援として文化芸術の普及、育成、住民参加型の文化振興事業を長期的に継続できるよう活動支援を図ってまいりたいと考えます。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	18
事務事業名	展示（常設展・特別展等）事業	担当課名	歴史博物館
係 名	歴史博物館	施 設 名	歴史博物館

（ 計 画 ）

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす		
事業の目的	展示会を通じて地域の歴史文化を紹介し、市民が地域の伝統文化等に関心を高め、愛郷心が育まれるようにしたい。			
事業の内容	展示会（年間企画展3回・特別展1回）の開催、展示図録・目録等の発行。			
事業対象	市民等来館者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

（ 実施内容 ）

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
	事業費 ①		2,712	2,762	3,885	
	内一般財源		1,684	1,757	3,269	
	内国・県補助金					
	内受益者負担		1,028	1,005	616	
	人件費 ②		10,587	10,587	10,587	
総コスト①+②		13,299	13,349	14,472		
実績と成果	区 分		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業実績	入館者数	人	4,946	4,307	4,500
	事業成果					

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	

総合評価	B	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>
------	----------	--

評価の説明	<p>博物館の主要な事業として、葛城に関するテーマで特別展・企画展などの展示活動を、例年通り年合計4回の開催を行った。入館者数は、前年に比べ若干少なかったが、過去入館者数の平均値並であった。また、展示会開催に要する経費について、従来から展示パネル製作など業者委託業務で施工していた展示装飾についても、質感的に劣るものの、できる限り職員の手作りで行うなど、経費節減に努めた。なお、展覧会開催の周知の方法により、入館者数も大きく影響する。現状において市広報・HPや県広報、市内放送、市内各区の掲示板へのポスター掲示、新聞報道などを活用し、市民に対して特別展等の開催をお知らせしている。これにより郷土の歴史に対し関心を持つ市民等に、特別展等の開催内容について広く周知できていると思われる。入館者数においては、年4回の特別展等の開催によりリピーターも多く、安定した観覧者数の傾向が見られるが、より多くの市民に、葛城の歴史文化に興味を感じ、入館していただけるように、効果的な周知方法を見出す必要がある。</p>
-------	--

事業の課題・問題点	<p>特別展・企画展は例年通り年合計4回の開催をしているが、本事業の予算の殆どは特別展開催の必要経費であり、他の企画展は、展示パネルを職員で手作り製作するように努めるなど、できる限りの展示事業経費節減の中で開催にこぎつけているものである。ただ、なんとか展示会開幕準備ができて、展覧会等広告経費の予算削減により広告範囲が削減されたままであるため、催し物情報(ポスター・チラシによる)の発信範囲が狭まったままであり、市外など広くに情報が届きにくい状態となってきた。このことから、経費のかからない新たな効果的広告手段の模索が必要となってきたものの、予算の伴わない広告方法にも限度を感じる。展示事業等の開催経費についても、経費削減に努め、予算等の効果的な運用努力を行うものの、更に求め続けられる、経費削減と入館者増への目標達成努力は葛城市の社会教育推進の一翼を担う公的博物館活動の普及啓蒙を推進するうえにおいて、厳しい状況である。</p>
-----------	---

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>本事業において、事業目的や内容及び本事業の有識者の意見や評価の結果を受けて、市の緊縮予算にもかかわらず本事業実施の有益性や成果が評価され、例年並みの事業実施の予算措置もなされているものの、博物館展示施設の設備維持に要する改修費は多額の予算を伴うことから、その為の予算確保に至らず、改善に至っていない。今後、本事業の目的・内容を継続していけるよう、博物館施設設備の維持の為の予算要求にも努めたい。</p>
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	<p>小学校の利用が市外まで拡大するなど、継続した取り組みが少しずつ実を結ぼうとしている。葛城市だけでなく葛城地域の歴史博物館という面をさらにPRしていただきたい。</p> <p>緊縮予算の中、いろんな工夫を凝らして展示会を実施され安定した観覧者数を維持されていることは評価できる。市民が地域文化等にふれ、愛郷心を育むためにもこの事業は必要であり、適切な予算を確保する必要がある。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>博物館の主要事業である展示会をより多く観覧していただくために、葛城地域の歴史博物館という面をさらにPRできるような情報発信に努めてまいりたい。博物館での展示会の為の経費や博物館普及活動と施設の維持管理経費に対しても、その必要性を訴え予算要望をしてみたい。そして市民が地域文化等にふれ、愛郷心を育ていけるような事業展開を更に推進すべく努力してみたい。</p>
---	---

教育委員会事業評価シート

		事業No.	19
事務事業名	歴史講座開催事業	担当課名	歴史博物館
係 名	歴史博物館	施 設 名	歴史博物館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす		
事業の目的	歴史講座等を通じて地域の歴史文化を紹介し、市民が地域の伝統文化等に関心を高め、愛郷心が育まれるようにしたい。			
事業の内容	葛城地域の歴史文化や新しい歴史研究の成果について本講座において、わかりやすく紹介することにより、地域の歴史文化への理解を更に深めると共に、市民の愛郷心を育むことを目標に歴史文化講演会「葛城学へのいざない」を年間13回にわたり開催する。 また、夏季には高学年児童を対象に親子で土器等を制作体験する親子ふれあい講座、秋には市内にて歴史ウォークを開催する。			
事業対象	市民等来館者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
	事業費 ①		205	170	320	
	内一般財源		205	170	320	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		950	950	950	
	総コスト①+②		1,155	1,120	1,270	
実績と成果	区 分		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業実績	参加者数	人	1,402	1,199	1,300
	事業成果					

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	展示事業とともに博物館の主要な事業として葛城に関係するテーマでの文化講座を、年13回の開催を行った。参加者数は、前年に比べ若干少ないものの、毎回百人ほどの方が集まる人気講座継続開催の希望も多く、概ね市民ニーズ・施策目標実現に貢献及び目標達成できていると考えられる。また当事業の主な経費の講師謝金も、博物館職員が講師となるなど、限られた予算の中で講座に最適な講師の選定に努めている。			
事業の課題・問題点	開館以来、葛城に因むテーマを取り上げ毎月1回開催する本講座であるが、「葛城」にテーマをしぼって開催しているため、以前に開催した講演会と内容・講師が重ならないように年間計画を作成し、また、限られた予算内での講師選びを行うなど、苦慮しているところである。ただ、開催月や天候により、普段よりも講座出席者の思わぬ減少が起こる場合もあり、H28年度においても、僅かながら目標数値に至らなかった。原因は天候不順・参加者側諸事情が重なった為と思われるが、今後、目標数値達成の為、講座開催の告知を従来の市広報や市内放送、新聞報道の他に効果的方法を探るなどして、広報を小まめに行い、受講者の増につなげたい。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	本事業において、事業目的や内容及び本事業評価の結果を受けて、市の緊縮予算にもかかわらず本事業の有益性や成果が評価され、例年どおりの事業予算確保もなされている。過去の評価結果をふまえ、講座内容や講師の選定等について更に厳選し、特別展・企画展担当職員の講演回数を増やし、対談形式の講演を開催するなどして、新しい来場者の開拓に向けて工夫を凝らした。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有識者意見	<p>毎月の講座で安定した来場者数をカウントしています。テーマによっては今まで歴史博物館のことをご存じでない新たな顧客を生み出しておりますので、年に数度は攻めたテーマで講座を開講するのもいいでしょう。また、近年はSNSの何気ない投稿で突如海外からでも来場者が押し寄せることもあります。様々な広報ツールを積極的に活用していただきたいと考えます。</p> <p>展示事業とともに博物館の主要な事業として、毎回百人ほどの人が参加していることは一定の成果は上がっている。今後とも、市民のニーズにあった講座や啓発方法等を再検討し、興味のない市民への関心を高めるための取り組みに努力してください。</p>
-------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	葛城市の歴史文化遺産が保全・継承されるよう、郷土の歴史文化に焦点をあてた講座等の開催を継続してまいりたい。様々な広報ツールの活用については、SNSに投稿を促されるような事業運営に努めたい。また当講座に興味のない市民への関心を高めるような取り組みについても検討し、限られた予算の中、広く情報発信を行うとともに、市民が郷土の歴史文化を学ぶ楽しみを感じながら、郷土愛がさらに高まるような普及活動を行いたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	20
事務事業名	埋蔵文化財等調査事業	担当課名	教育総務課・歴史博物館
係名	文化財係・歴史博物館	施設名	教育総務課・歴史博物館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす		
事業の目的	市内地域の埋蔵文化財の保護。			
事業の内容	<p>市内遺跡内で開発工事が行われるのに際し、市民等より事前に提出される発掘届出書を県教委へ進達する。それについて県教委から通知される指導事項に従い、市の担当職員が現場にて発掘調査や現場立会等を実施し、調査結果終了報告書等を作成し、県教委へ提出する。また、市内遺跡の範囲確認・保護等のための発掘調査や、記録保存等のための発掘調査を市教育委員会が主体となって実施し、詳細な調査記録をまとめた報告書を作成し、国・県へ報告すると共に各研究機関にも配布し、埋蔵文化財の保存・研究・活用のために資する。</p>			
事業対象	一般事業者・市民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
	事業費 ①		2,000	2,000	2,000	
	内一般財源		500	500	500	
	内国・県補助金		1,500	1,500	1,500	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		3,352	3,352	3,352	
	総コスト①+②		5,352	5,352	5,352	
実績と成果	区 分		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)	
	事業実績	調査事業	件	9	6	10
		立会等	件	23	13	20
		届出(通知)	件	66	69	70
	事業成果					

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	合併に伴い葛城市になったことで、埋蔵文化財包蔵地エリアも増大した。それともない、当該エリア内における開発件数も年々増加し、役所窓口における市民からの遺跡有無確認の問い合わせ対応や、提出書類の進達業務、また発掘調査等の事業実施も人員的に十分でなく対応に追われ困難な状況であるが、課内における事務事業の調整に苦慮しながらも、所定の成果を上げている。			
事業の課題・問題点	合併に伴い葛城市になったことで、埋蔵文化財包蔵地エリアも増大し、当該エリア内における開発件数も年毎に増加している。また、公共事業や宅地開発等土地開発事業が増加傾向にある中で、現場対応できる技術職員配置体制が1名と、旧町体制レベルのままであり、更に博物館業務と兼務であることから、博物館事業との兼ね合いに多くの困難を呈する状況である。埋蔵文化財を主担当とする職員が、文化財を有する他の県内市町村なみに配置出来ていないことに問題と課題がある。更に、発掘調査現場における調査に対応できる職員も40歳代1名のみであり、早急な後継者の育成も必要である。については文化財等行政業務の円滑化をはかるため文化財係(教育総務課)の中に埋蔵文化財等行政業務に対応できる専門技術係職員等の配置をする必要があるのはもちろんの事であるが、増加するであろう発掘調査等の事象や文化財保護のため、行政事務を円滑に対応していく為にも、技術系職員等の新規補充配置と後継者育成が必要である状況である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	事務の効率化を行うと共に、毎年人事配置の増員も人事ヒアリングに要望しているものの、未改善。本事業における人事的課題について、人事要望を行っているものの事態の改善に至らず、例年ほぼ同様な問題点を提起し、過去における有識者の意見も葛城市の文化財を保護する為、「後継者の育成も含め、市の発展に応じた人材配置が望ましい。」など、提言もいただきながら、改善できていない。
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	例年人事面の不足が叫ばれているが一向に改善していないことが問題です。専門的に動ける人員が1人しかおらず、休暇を取ることができないなど全ての負担が集中しています。万が一のことがあれば、市内の開発が全てストップするという現実を理解している人間がどれだけいるのか不安に感じます。 去年度も評価したとおり、埋蔵文化財包蔵地エリアの増大に伴い開発件数が増加してきている現状の中、将来的にも文化財を保護していくため人事面において、専門職の育成及び人員の増加は最優先課題である。
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	本市における埋蔵文化財の発掘調査等の業務は、将来のまちづくりに欠かせぬ事業である。近年の開発件数の増加により、それに対応できる専門職員数も限られ、業務を執行するうえで困難な面も多いが、業務の効率化および関係機関との連携をとりつつ、計画的かつ円滑に事業推進が図れるよう努めていきたい。また、今後の業務の円滑化を進め安定化を図るため、関係職員の増員についても要望をしていきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	21
事務事業名	各種教室開催事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名	當麻スポーツセンター他

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	市民に教室等を紹介し、スポーツに親しむ機会を提供して健康増進を図る。			
事業の内容	<p>在住・在勤者を対象に、スポーツに親しんでいただくきっかけづくりのため各教室を開催する。幅広い年齢層のスポーツニーズおよび教室の実施対象者のニーズを把握し、できるだけ多くの方の参加を目指す（初心者優先）。</p> <p>年齢や生活環境に適した幅広い市民のスポーツ人口の増加推進に努める。また、親子テニス教室や親子体操教室のように親子でふれあえる教室のニーズが高まっているので、さらに充実していく。</p> <p>また、今年度から、過去のアンケートからもニーズの高いジュニアバドミントン教室を、昨年、一昨年と公募がなかったゲートボール教室に変えて開講することになりました。</p>			
事業対象	教室・講座受講者（市内在住・在勤者）			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	
	事業費 ①		1,575	1,554	1,722	
	内一般財源		1,575	1,554	1,722	
	内国・県補助金					
	内受益者負担					
	人件費 ②		3,398	2,015	2,015	
総コスト①+②		4,973	3,569	3,737		
実績と成果	区 分		単位	平成 27 年度実績	平成 28 年度実績	平成 29 年度(目標)
	事業実績	小学生	千円	882	882	1,022
		一般	千円	420	420	420
		親子教室	千円	273	252	280
	事業成果	小学生	人	195	225	200
		一般	人	69	71	90
		親子教室	組	54	36	40

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	以前より、人気のある「トランポピクス教室」をはじめ、親子や小・中学生対象とするテニス、サッカーも人気があります。また、今年度はじめて公募しました「ジュニアバドミントン教室」も定員超過となる程の募集がありました。 親子のふれあいの機会づくり、小・中学生から高齢者まで、スポーツを始めるきっかけとなり、全ての人の体力向上、健康増進に繋がっております。			
事業の課題・問題点	会場の確保、講師の高齢化等の課題があることから、昨年度末に設立されました総合型スポーツクラブ「スポーツクラブ葛城」と主旨、目的が類似するところがありますので、今後、「スポーツクラブ葛城」との調整、移行できる教室は、整理することが必要であります。 しかし、会費、受講料負担の課題も解決する必要があります。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	その時々で、ニーズ等把握しながら、新規教室、内容改正を行っておりますが、先述の課題・問題点も踏まえて、教室全体の見直しを行います。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	公民館の教室・講座と市内案内冊子を共有しているが、利用者の見やすさ、選びやすさという消費者目線が冊子デザインから欠如していると思われます。 教室の開催状況はニーズに即しており、適切な運営がなされているように感じます。 アンケート調査により、市民及び実施対象者のニーズの把握に努め、幅広く年齢に応じた教室を企画・運営され大変有り難いことです。しかし今後、総合型スポーツクラブに移行していく必要がある。そのための検討が重要になってくる。
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	教室・講座の募集冊子の校正、レイアウトにつきましては、関係部署とも協議の上、いただきましたご意見を参考に見直し作業を検討します。 また、総合型スポーツクラブへの移行につきましては、クラブ、市講座の講師とも協議の上、進めていきます。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	22
事務事業名	各種スポーツ大会等開催事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名	新庄第1県民運動場他

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	各種スポーツ大会等を企画し市民の参加を促す。			
事業の内容	<p>市民が積極的に参加できる各種大会の開催や後援などを通してスポーツの振興を図り、健康・体力づくりを支援する。市体育協会及び加盟団体とともにスポーツへの関心を高め、生涯スポーツの振興と体力・健康づくり及び技術の向上を図る。</p> <p>市民体育祭をはじめとする各種のスポーツ・レクリエーション大会等の行事については、参加及び実践意欲の向上をかんがみて内容等を検討し、さらに多くの市民がスポーツに親しむように努める。</p>			
事業対象	大会参加者（市内在住・在勤者）			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	
	事業費 ①		4,548	4,548	4,548	
	内一般財源		4,548	4,548	4,548	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		5,841	5,846	5,846	
	総コスト①+②		10,389	10,394	10,394	
実績と成果	区 分		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)	
	事業実績	大会事業費	千円	4,548	4,548	4,548
	事業成果	大会参加者数	人	8,832	8,420	9,000

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	全体参加者数は、横ばい状態であるが、競技種目によっては、参加チーム(者)数が、減少傾向もあるので、参加条件、ルール等の見直しを行い、より多くの方が参加できるように、団体等と協議し、大会運営を行っていきます。			
事業の課題・問題点	市民体育祭では、地区(大字)によっては、棄権種目が増える傾向にあるので、小、中学生、高齢者を中心に参加しやすい種目の検討が必要であります。また、市民バレーボール、市民ソフトボール大会の参加チームが減少しているのが、以前は、職域、各種団体としての大会から市民対象に変更されたことが、原因の一因とされるので、ルールの見直しで、参加チームを増やすことが課題である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	市民体育祭につきましては、以前より競技種目の見直しを行なっておりますが、今後も引き続き行うことと併せて、昨年度まで実施しておりました「スポーツアドバイザー」に変わる企画を検討します。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	女子バレーやソフトボールの大会において参加チームが減少していたが、下げ止まりの感があります。市民体育祭には市内各大字から参加していただいております、引き続き盛況であると判断出来ます。 本年度も、参加者が横ばい状態であるということは、今後各種大会および新しい大会等を含め、各種団体と検討していくことが必要である。そして、この事業の目的である市民が気軽に参加できるような大会になるよう企画・運営に心がけていく必要がある。
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	市民女子バレーボール大会(6/25開催)は、昨年度と同じ6チームの出場があり、市民ソフトボール大会(7/23～開催)は、現在申込受付中であり、昨年度並みの出場はあるようです。 市民体育祭のプログラムの見直し検討をして、より多くの方に参加いただけるように各種団体とも協議し、企画、運営を行っております。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	23
事務事業名	体育施設の管理運営事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施設名	當麻スポーツセンター他

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	体育施設の安全で効率的な管理および運営			
事業の内容	体育館 4カ所（當麻スポーツセンター体育館、市民体育館、新庄スポーツセンター体育館、いきがい体育館） 運動場 5カ所（當麻健民運動場、新庄第1健民運動場、新庄第2健民運動場、新町球技場、農村広場） テニスコート 3ヶ所（當麻スポーツセンターテニスコート、新町公園テニスコート、屋敷山公園テニスコート） プール 2ヶ所（新庄、當麻両スポーツセンタープール） 上記体育施設の維持管理・運営を職員3名、嘱託1名、アルバイト3名で行っている。 施設の老朽化に伴う修繕については、施設管理の方向性を検討し、公共施設のファシリティマネジメントとの整合性を図りながら、計画的な施設の維持修繕を実施する。			
事業対象	施設利用者（市内在住・在勤者）			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算
		事業費 ①		46,324	44,758	50,205
事業コスト (単位：千円)		内一般財源		45,017	42,905	49,038
		内国・県補助金				
		内受益者負担		1,307	1,853	1,167
		人件費 ②		6,178	5,145	5,145
		総コスト①+②		52,502	49,903	55,350
実績と 成果	区 分		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度(目標)
	事業 実績	施設管理費	千円	46,324	44,758	50,205
		内修繕、工事費	千円	11,539	8,028	8,822
	事業 成果	施設利用者	人	192,723	198,856	200,000

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	C	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	老朽化が激しい各施設の維持管理につきまして、不良箇所が多々あり、内容的に抜本改善が必要な部分が多くある為、必要最小限の維持修繕により対応管理を行っております。したがって、公共施設全般のファシリティマネジメントとの調整、整合性を検討する上で、修繕計画が必要となり、修繕が進まない状況であります。 また、施設利用管理につきましては、特段問題なく事務遂行がなされております。			
事業の課題・問題点	評価の説明でも記述しました施設全般の施設修繕計画を整備する必要があります。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	前述のとおり、「施設修繕計画」を整備して、計画的な改善を行う。
-------------------	---------------------------------

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	30年を越す施設ばかりで、世間的な物価上昇も相まって維持コストは増大しています。周辺自治体の中では多く施設を有しているの、統廃合も常に視野に入れておくべきです。また、「施設修繕計画」の整備については早急に取りかかっていたいただきたいです。 一般市民が毎日数多く活用する体育施設である。安全で快適に利用できるように日々点検を行っていただき有り難いです。老朽化が進む中、点検・改修していただき使用者が安心して活動できる体育施設に努めてください。また、体育施設が多くあるわりには職員が少ないように思われる。
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえた担当課意見・数値目標等)</small>	「施設修繕計画」は、以前作成されました「ファシリティマネジメント」との整合性を図りながら、統廃合か大規模修繕による維持保全も検討課題と考えます。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	24
事務事業名	総合型地域スポーツクラブ事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名	當麻スポーツセンター他

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	総合型地域スポーツクラブを設立し、市民のスポーツ意識の高揚、健康増進や体力向上及び子供から高齢者までの人々が集い、スポーツや文化を楽しむコミュニティの実施を図る。			
事業の内容	平成28年度末に総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブ葛城」が設立されました。さらに、学校施設や公共施設を有効利用して、市民(地域)の方が、気軽に参加でき、人と人のふれあいや仲間づくり、また、市民(地域)のために運営・活動をおこなうもので、健康増進に加えて、子供たちの健全育成のために、現代社会の諸問題(子供の遊び場の減少やいじめ不登校をはじめとする教育問題、さらには、核家族化による世代間交流の欠如などの問題)に、応えられるスポーツクラブの運営を目指す。			
事業対象	教室参加者(市内在住・在勤者)			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度決算
		事業費 ①		1,332	1,570	5,780
事業コスト (単位：千円)		内一般財源		306	225	387
		内国・県補助金		864	826	3,478
		内受益者負担		162	519	1,915
		人件費 ②		3,020	970	970
	総コスト①+②			4,352	2,540	6,750
	実績と成果	区 分		単位	平成27年度実績	平成28年度実績
事業実績		諸謝金	千円	507	796	710
		事業費	千円	825	774	5,070
事業成果		体験教室参加者	人	100	162	
		設立準備会	回	7	8	
		教室参加者	人			180
		運営委員会	回			10

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	平成27年度より、設立準備委員会を立ち上げて、体験イベント、体験教室を開催し、事業主旨に基づく取り組みを行ない、今年度末に、正式な総合型スポーツクラブ「スポーツクラブ葛城」を設立事が出来、次年度からは、クラブマネージャを中心に事業展開が期待できるためであります。			
事業の課題・問題点	上記評価結果ではありますが、まだ、設立初年度でありますので、運営に関する不安材料はあります。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	総合型スポーツクラブは、設立の為2カ年度での「創設支援事業」の実施、平成29年度からの「自立支援事業」の実施であり、事業開始から期間がない為、今後の動向で、改善を検討していきます。
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有識者意見	<p>PRの面で対応が後手後手になっており、市民にどれだけ認知されているのか不安を抱えます。また、前述の各種教室やスポーツ少年団との棲み分けが出来ておらず、利用者の視点からは煩雑であると思われます。早急に移行計画を策定し、5年10年先を見据えた計画的な事業構築を要望します。</p> <p>平成27年度より地域の方が地域のために運営・活動をおこなう総合型地域スポーツクラブの設立準備委員会を立ち上げ取り組みを行い、「総合型スポーツクラブ葛城」を設立出来たことは評価できる。今度は、「自立支援事業」実施に向け、市民のニーズを的確に把握し、市民のための総合型地域スポーツクラブの運営に取り組んでください。</p>
-------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	PR不足は、否めないところであります。今後、クラブの自立に向けて、市教委、市スポーツ団体等との事業の調整、構築、PRイベントの実施など、クラブの運営委員と協議しながら進めたいです。	

7. 点検及び評価のまとめ

教育に関する事務の点検及び評価報告書（各事業評価シート）について、教育委員会より以下の意見を受けました。

(1) 各事業に対する意見について

事業 No. 1 空調設置工事

快適な教育環境として、いち早く空調設備を設置いただいたことは大変有難いことである。今後は運用指針のもと適切な運用を図り学習の向上と安全な学校生活を送っていただきたい。

空調設置により快適な環境がつけられたので、学力向上を目指して欲しい。また現代の子どもたちはクーラーが当たり前の時代であり、体力低下や健康面が危惧されるので、学力と体力の双方の対策をお願いします。

空調設置工事については、現在、中学校において空調を導入したことにより、快適な環境の下で勉学に励んでいるとのことを関係者の方から評価をいただいております、学習向上に向けての適切な取り組みであったと考えられる。

出来る限り工事期間は休校時に施工出来るように工夫していただき、夏場の熱中症対策に対応できるように配慮願いたい。

事業 No. 2 新庄北幼稚園増築及び各所改修工事

幼稚園・小学校・中学校の増築及び各改修工事については、子どもたちが安心・安全・快適性のある学校生活を過ごすためにも、今後も尚一層の環境整備に取り組む必要があると思われる。

今後も児童数の増減を把握しながら、施設整備に取り組んでいただきたい。

事業 No. 3 小学生スポーツ教室委託事業

子どもたちがスポーツの世界の第一線で活躍されている人に直接会えることは、大変喜ばしいことである。またその人たちから話を聞いたり実技指導を受けたりすることが将来心の宝物になればと思う。

スポーツを通して子どもたちに団結力や協調性、忍耐力、達成感や喜びを与えてもらいたい。この取り組みは今後も期待します。

スポーツ活動により、子どもたちが将来に渡って心豊かな人間性を築くための事業として進めていただくことを希望する。

各スポーツのアスリートの体験談は、心技等を向上させる上で貴重であると思います。

従って、アスリートの招へいには難しいこともあると思いますが、引き続き努力していただきたい。

事業 No. 4 学校給食事業

命にかかわるアレルギー対応については、これまで同様綿密に実施されたい。また、葛城市の給食は、安全・安心で栄養バランスのとれた美味しい給食として高い評価をうけている。

安心・安全な給食の提供を日々考えていることと思います。今後も委託業者の連携を取り、事故のないよう努めてください。

異物混入対策を問題とされている中で、業者委託としている主食であるパン、米飯については様々な問題点があり、食育面においても、安心・安全な給食の提供ができるよう、保護者の理解を得ながら根本的に改善していく必要がある。

地産地消に関する取り組みは引き続き実施していただき（例：地元の米等を使用）、新給食センターで米飯調理が行える施設修復、拡充を視野にいれ、今後検討していただきたい。

事業 No. 5 葛城歌壇短歌大会

継続することで徐々に参加人数が増えると思います。表彰式と作品の講評に教員も参加すれば、子どもたちに短歌のよさを伝えられると思います。

事業 No. 6 読書活動支援・講座

子どもから大人までの様々な企画がなされており、本に親しむ機会をつくっていただいています。今後も興味が湧く講座の企画等をお願いします。

事業 No. 7 ブックスタート事業

ボランティアの協力がある事業であるため、市民に周知や呼びかけを行うためにも「絵本読み聞かせ講座」の教室を定期的で開催してみてもどうか。

事業 No. 8 成人式式典事業

行政の指導のもと、スタッフの確保も定着しつつある。誰もが共に喜びあい、心に残る成人式を期待する。

新成人が企画進行する成人式で毎回楽しいものになっています。今年度より中学卒業時にスタッフとして企画に携わることを依頼されていることで、心の準備等できている状態でスムーズに運営企画ができることは良かったと思います。また、オープニングの幼稚園の演奏も新成人にとって心に残るものと思われます。

事業 No. 9 生涯学習人材バンク事業

登録者の派遣依頼が少ないということは、もっと登録者の実績や指導内容等を詳細に併記すべきと思う。

広報で人材バンクの登録者氏名も記載されていますが、氏名を載せないで事業説明と問い合わせ先を明記するだけではどうですか？（人材バンクに登録したくても広報で氏名が載ることに抵抗を感じている方がおられるかも）

事業の展開が希薄であるため、今後、事業の方向性の検討が必要であると思われる。

利用者、ボランティア登録者も減少傾向であるようですが、粘り強く広報活動等を通じ、市民ボランティアを募集するとともに派遣分野の開拓に努力願いたい。

事業 No. 10 青少年健全育成事業

こども・若者サポートセンターと今後連携を図り、会議等で葛城市の子どもたちの現状をサポートセンターより報告され、今後の啓発活動にいかしてほしいです。また、学校運営協議会との連携も考えてください。

事業 No. 11 学校・地域パートナーシップ事業

本事業は葛城市内全校に定着し、落ち着いた学校環境が保たれている。後々に本事業が継続できるようコーディネーターの育成に努められたい。

定期的に広報誌でのボランティア募集を検討してほしい。

事業 No. 12 生涯学習まちづくり推進大会

我が地域に住みながら、地域の伝統行事や歴史、生活様式等知らない人が多々おられることと思う。この事業を受けることによって地域が一体となり協力体制が生まれているように思われる。

モデル分館の発表や、小・中学生の作文発表など披露する場があり、今後の活動においても意欲につながると思います。また、スポーツ少年団や各種スポーツ団体も意欲的に頑張っておられるので、活動の報告を市民全体に知っていただく機会として、発表することも検討してください。

分館活動の魅力を伝えていくためにも、マンネリ化とならないように新たな工夫を取り入れ、今後も継続できるように検討していただきたい。

事業 No. 13 葛城アートフェア事業

事業の目的として「魅力ある葛城市」を挙げるのならば市民の出品者増は勿論のこと、地域に愛され、協力される啓発活動の工夫を検討されたい。

当麻寺を展示の場所に選ばれているのはとても良いことだと思います。市外の方を当麻寺に誘致し、当麻寺参道の開発や相撲館への誘致にもつながると思います。

市内の応募の減少が気になる。出品作品のハードルを下げる等、気軽に応募できる体制作りを検討してはどうか？（趣味程度で作っている陶器等）

事業 No. 14 公園まつり実行委員会業務

マンネリ化解消には常々工夫を凝らして取り組まれていることに敬意を表したい。今後も関係団体に働きかけ活力あるまちづくりに取り組んでいただきたい。今回の公園まつりは例年以上の多くの方が来場され、大いに賑わいがみられたように思われる。今後も地域の人たちの交流の場として、また、楽しみのひとつでもあると感じられるような取り組みの必要性があるものと考えられる。

事業 No. 15 地区館教室・講座事業

地域において趣味を同じくする人や教養を身につけたいと思う人々が身近に集う場所として地区館を利用できることは願ってもないことである。大いに活用を場を生かされたい。

事業 No. 16 中央公民館 當麻文化会館 教室・講座事業

地域住民の学習ニーズを的確に判断し、誰でも気軽に参加でき、成就感を味わえる講座を期待する。

事業 No. 18 展示（常設展・特別展等）事業

歴史博物館にはあかねホールが隣接されているので、そこで葛城市の歴史についての講座・劇等を子ども向けにも考えてもらいたいです。広報誌等で市民にもアイデア等を募り様々な企画を考案してください。

歴史に興味をもつ人々が年々増加の傾向にある。そうした中で葛城市の歴史と文化を多くの人にアピールできる事業の展開を期待する。

事業 No. 20 埋蔵文化財等調査事業

年毎に埋蔵文化財包蔵地エリアが増大する中、従事する専門職員の少なさに困っておられる。単なる増員だけでなく専門職員の適材適所の人員配置を切望する。

専門職員の増員を早急に行い、後継者の育成にも引き続き努力願いたい。

事業 No. 22 各種スポーツ大会等開催事業

市民体育祭では、参加することによって地域の連携・各種団体のまとまりが高められる。市民が気軽に体育祭会場に足を運べるような企画を検討されたい。

事業 No. 23 体育施設の管理運営事業

どの施設をとっても老朽化が進んでいるので利用者に危害があってはいけない。安全で快適に利用できるように日々の点検及び補修を願いたい。

老朽化に伴い将来的な維持管理を考えると、早急に「施策等への反映方針」に記されている統廃合等の方向性を決定、検討していただきたい。

事業 No. 24 統合型地域スポーツクラブ事業

「スポーツクラブ葛城」の具体的な活動内容を明確にされたい

(2) 総評

主要な24事業について、事務局・各機関は「A評価…7、B評価…15、C評価…2」と自己点検しています。その中でも、C評価「成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い」と判断される事業もあることから、改めてそれぞれの取り組み状況を振り返りたいと思います。今後も、事業の対象となる市民の皆様の満足度を第一に考え、PDCAサイクルで事業遂行をしまいたいと考えます。

この事業評価に関わっていただきました有識者の方々には、高い見識と豊かな経験のもとに貴重なご意見をいただきました。本当にありがとうございました。

いただきましたご意見を真摯に受け止め、未来に生きる子どもたちが健やかにたくましく成長できるよう、また、市民の皆様が日々の生活の中に安らぎや喜び、潤いを感じていただけるよう、関係者の皆様のご理解とご支援・ご協力を得ながら事業の推進に向けて努力してまいります。

平成29年9月1日

葛 城 市 教 育 委 員 会